

第7回

日時：令和7年6月17日（火）14:25～16:15（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

自分史の作成

- ア) グループ内での対話を通じて、自分の経験を多角的に見つめ直す。
- イ) 他者の経験や視点に触れることで、自己理解を深めるヒントを得る。
- ウ) 対話で得た気づきを元に、振り返りシートの記述をより具体的で深い内容に修正したり追記する。

【授業の様子】



第8回

日時：令和7年7月2日（水）9:00～11:50（全コース）

場所：視聴覚教室、会議室、Amane

【内容】

山本竜也氏による講座

- ア) 志望動機・志望理由書の概要を話す
- イ) 自分史から要素を取り出す
- ウ) 未来についてのレクチャー／未来インタビュー準備
- エ) 未来インタビューと振り返り

第9回

日時：令和7年7月3日（木）11:00～12:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室等

【内容】

ブリコラージュゼミのリハーサル

第10回

日時：令和7年7月8日（火）14:25～16:15（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室等

【内容】

- ア) 講座の内容を探究コースの他講座のメンバーに共有する（リハーサルで気づいた課題も含めて発表する）
- イ) 他講座のメンバーからのアドバイスも参考に最後の調整を行う

第11回

日時：令和7年7月9日（水）9:00～10:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室、会議室、Amane

【内容】

山本竜也氏による講座

ア) 自己アピールや資質・能力についての講話

イ) 自分史の要素を踏まえ、自己アピールをデザインする

ウ) 自分史の要素から自己アピールをデザインする

エ) トークフォークダンス上になって、3名くらい発表を聞いてコメントをもらう

第12回

日時：令和7年7月14日（月）11:00～12:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室等

【内容】

講座毎に最終準備

第13回

日時：令和7年7月15日（火）12:00～16:15（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室等

【内容】

ア) 準備

イ) 73ページに記載されている講座を実施

第14回

日時：令和7年7月16日（水）9:00～9:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室等

【内容】

ア) 講座毎に振り返り

イ) 各講座1分ずつで振り返り

ウ) 個人で振り返りシートの記入

第15回

日時：令和7年7月16日（水）10:00～11:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室、会議室、Amane

【内容】

山本竜也氏による講座

ア) 対話で大事にした方が良いことについての講義

イ) バグリスト ※ひたすら詰まっていること、困っていること等を書き出すワーク

ウ) ノンストップライティング ※まとまらなくていいから原稿用紙にひたすら書くワーク

エ) 振り返りをペアで行う

オ) 自律的に時間を使う意味について説明→目標設定→作業や相談等実施

カ) 自分で設計した作業に取り組む

第16回

日時：令和7年7月17日（木）9:00～10:50（探究コースのみ）

場所：視聴覚教室、会議室、Amane

【内容】

山本竜也氏による講座

ア) テーマ書き／マッチング

イ) 対話1回目

ウ) テーマ書き／マッチング

エ) 対話2回目

オ) 大事にしたいことを書く

カ) 全員一言ずつ宣言

【授業の様子】



第17回

日時：令和7年7月17日（木）11:00～12:50（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

自分史作成のための作業

第18回

日時：令和7年8月22日（金）11:00～12:50（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

・自分史作成のための作業

第19回

日時：令和7年9月8日（月）13:25～15:15（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

ア) 自分史発表会の会場（班分け）と本日の内容を説明

イ) Web ページ（自分史）のアップの仕方と閲覧、投票についての説明

ウ) 生徒は web ページを完成させて、授業終了までにアップする。

第20回

日時：令和7年9月9日（火）14:25～16:15（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

ア)各会場で生徒は順番に自分のwebページや発表資料が上手く投影できるかの確認を行う。

イ)時間が余った場合、昨日アップされた全員分のwebページを閲覧し、1番良いと思うサイトを作成した人に投票する。

第21回

日時：令和7年9月16日（火）13:25～16:15（全コース）

場所：視聴覚教室等

【内容】

自分史プレゼンテーション実施

ア)発表の順を確認し、質疑応答の時間に使う質問カードを配布する。

☆色のついたカード（5種類30枚）：発表の内容について深める質問

♡白いカード（5種類30枚）：サイトについての質問

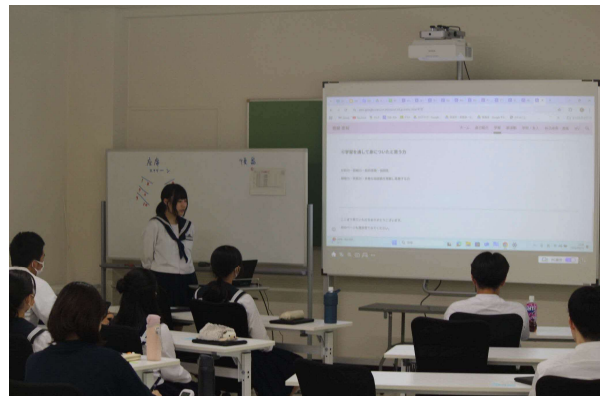
生徒は色のついたカードから2種類、白いカードから2種類を選んで持っておく。

質疑応答の時間には、そのカードを使って質問をすることができる。

イ)教員は生徒一人一人の発表を聞いて評価を入力する。

ウ)生徒は、全員の発表終了後に教室内で、1番良かった発表書を選んでアンケートフォームで回答し送信する。

【授業の様子】



第22回

日時：令和7年9月17日（水）9:00～9:50（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

自分史プレゼン結果発表

ア)オーディエンス賞1名の発表

イ)ベスト発表者賞6名の発表と、選ばれた生徒によるプレゼンテーション

第23回

日時：令和7年10月8日（水）11:00～12:50（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

小論文講座

第24回

日時：令和7年10月9日（木）11:00～12:50（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

小論文講座

第25回

日時：令和7年10月14日（火）11:00～12:50（全コース）

場所：視聴覚教室等

【内容】

ア)小論文講座

イ)自分史プレゼン（9月16日）欠席者のプレゼン実施

第26回

日時：令和7年10月21日（火）14:25～16:15（全コース）

場所：視聴覚教室

【内容】

小論文講座

第27回

日時：令和7年10月22日（水）13:25～15:15（全コース）

場所：視聴覚教室、地歴公民科教室、図書室

【内容】

ア)小論文完成、提出

イ)教員及びCNとの面談

2. 未来へつなぐコンサート

連携企業である株式会社 Nex-E 様の 10 周年記念コンサートに、本校の合唱部がピアノ奏者の加畑嶺氏、ヴァイオリン奏者の鈴木慶子氏とともに参加した。演奏に合わせた合唱やピアノ連弾など、事前のオンライン打ち合わせやリハーサルなどを含め、生徒も多く関わることができた。当日は100人を超える入場があり、大盛況だった。株式会社 Nex-E、津和野町つわの暮らし推進課、津和野町教育委員会の協力のもと実現できたコンサートであり、共創の名にふさわしいものとなった。

【コンサートについて】

日時：令和7年3月2日（日）18：30～

会場：安野光雅美術館ロビー

【リハーサルおよびコンサートの様子】



3. 連携企業の方の校内拠点の設置

連携企業の方と本校教員や生徒がやりとりを円滑に進めるために、企業の方の拠点をふらっとルームに設けた。株式会社 Nex-E の大庭成晴氏が定期的に来校し、本業の傍ら生徒や教員の ICT 支援をしていただいている。

【来校日】

令和7年5月16日（金）8：30～17：00
令和7年5月21日（水）10：00～17：00
令和7年5月26日（月）11：50～17：00
令和7年6月2日（月）11：50～17：00
令和7年6月4日（水）15：00～17：00
令和7年6月11日（水）16：30～18：00
令和7年6月13日（金）16：30～18：00
令和7年6月14日（土）9：00～17：30
令和7年6月16日（月）15：00～17：00
令和7年6月18日（水）11：50～17：00
令和7年7月2日（水）10：00～17：00
令和7年7月7日（月）15：30～16：30
令和7年7月14日（月）13：00～17：00
令和7年7月17日（木）13：00～18：00
令和7年7月24日（木）9：00～16：00
令和7年7月28日（月）9：00～10：00
令和7年9月16日（火）16：30～18：00
令和7年10月3日（金）13：00～14：00
令和7年10月6日（月）15：00～17：00
令和7年10月29日（水）15：00～17：00
令和7年11月7日（金）15：00～17：00
令和7年11月19日（水）15：00～17：00
令和7年12月4日（木）15：00～17：00
令和7年12月17日（水）15：00～17：00
令和8年1月9日（金）15：00～17：00
令和8年1月23日（金）15：00～17：00
令和8年1月28日（水）15：00～17：00
令和8年2月2日（月）15：00～17：00
令和8年2月9日（月）15：00～17：00
令和8年2月25日（水）13：00～15：00
令和8年3月9日（月）15：00～17：00（予定）

【依頼している主な業務内容】

- ア) デジタル講座の内容について、生徒への個別支援
- イ) デジタル機器の扱いについての相談
- ウ) ホームページ作成の相談
- エ) 連携内容についての意見交換
- オ) デジタル等について情報交換

v 情報活用能力育成のための取組

1. 東京企業研修訪問

グラウンドデザインとの関連：知的好奇心

IT 企業へ訪問をすることで、生徒の進路志望の選択の幅や視野を広げるために希望者を募り、企業訪問した。LINE ヤフー株式会社とグーグル合同会社渋谷オフィスへの訪問を予定していたが、悪天候による航空機欠航のため後者のみの訪問となった。本校は Google for Education の事例校であることから、グーグル合同会社の方の前にてプレゼンをすることもできた。

【訪問について】

日 時：令和7年3月27日（木）～28日（金）

訪問先：グーグル合同会社渋谷オフィス

参加者：1年生5名、2年生2名、引率教員2名

【内容】

グーグル合同会社渋谷オフィス内の見学や、社員の方による会社説明、および生徒による津和野を紹介するプレゼンを行った。

【生徒の感想】

ア) たくさんのお話を学ばさせていただきましたが特に印象に残ったのは「やってみよう」という言葉です。津和野高校でもやってみようというキャッチフレーズがあり、ちかい物があるなと思って親近感が湧いていました。そこで実際にやってみようを経験してそれが実際に結果として現れているのがとても素敵だなと思いました、私は今自分がやりたいことがあるのに本当にこれやってみて何かにつながるのかなとか本当にこれをやって良いのかななど不安だらけで何かをやりたいと思ってたためらってしまう自分がいました。なので今回、貴重な話を聞いてとても心が動かされました。やりたいことをやるという勇気が出たので今後の進路のためにたくさん挑戦したいです。

イ) 初めてグーグル合同会社に行ってみて、聞いていた通りにとってもグローバルな会社だなと思いました。互いの考えや文化、宗教など尊重し合って助け合っている部分が私はとても好きでした。場所や環境が変わったとしても、性格や一人ひとりの考えは変わらないから様々な考えやアイデアが生まれるんだなどお話を聞いて感じました。

ウ) 津和野高校は「やってみよう」を「やってみよう」にするというのがテーマとしていて、私は総合的な探究の時間で「書道をもっと身近にさせたい」ということをしています。旅館のお品書きを自分の書で書いてより多くの人に目にしてもらおうというとりくみをしています。しかし、この取り組みは高校2・3年で終わってしまうことがとても残念だなと感じています。グーグル合同会社さんの取り組みは国から次の国へと取り組みなどがつながっていているから、今の規模まで広がっているのかなと思いました。なので、自分のやっている取り組みが次の世代にとつながってほしいなと思っています。

【研修の様子】



2. 数学ゼミ

グラウンドデザインとの関連：知的好奇心

数学科舟木亮介教諭による、数学に興味を持っている2年生希望者を対象とした放課後のゼミを、24教室を会場にして以下のように実施した。

【目的】

日常生活にある事象を数学的に捉え、他者とその解決策について考えることを通して「課題発見力」と「課題解決力」を養う。

第1回

日時：令和7年4月14日（月）15：40～16：40

【内容】

完全順列

クラス全員が席替え後、異なる席に座る確率をどのようにして求めるかについて考えた。大学入試でも度々出題されるテーマではあるが、普段の授業ではあまり取り上げられない。現時点では未習の”漸化式”の考え方にも触れ、その内容に興味を持つ生徒もいた。ゼミ後も自主的に計算を進めて、その成果を報告した生徒もいた。

第2回

日時：令和7年4月21日（月）15：40～16：40

【内容】

フロベニウスの硬貨交換問題

4円玉と7円玉を使ってちょうど支払うことのできない金額の最大値を求める問題を扱った。生徒は具体的に実験や議論をしながら、生徒だけでほぼ結論までたどり着いた。整数の分野の既習事項と絡めながら証明までをゼミで扱い、ほとんどの生徒が十分に理解している様子だった。「おもしろい」と内容に強い関心を抱いている生徒もいた。なお、この内容は2000年の大阪大学入試問題にも出題されるような、柔軟な思考を必要とするテーマである。

第3回

日時：令和7年4月28日（月）15：40～16：40

【内容】

シンプソンのパラドックス

仮想のAとBの2つの高校が受験した試験の男女別平均点を比較すると、A高校の平均得点が高く見えるが、各校の男女別の人数によって学校全体の平均得点が変わる場合がある。このように、集団を2つに分けた場合、ある仮説が成立したとしても、集団全体ではその仮説は成り立つとは限らないことを数学的に考える演習を行った。生徒は、情報を読み取る時はその裏側にある事柄を分析し判断する必要があることについて理解していた。

【ゼミの様子】



第4回

日時：令和7年5月19日（月）14：50～15：50

【内容】

ルーローの三角形

掃除ロボットの形として採用されているルーローの三角形について、その作り方や特徴を学んだ後、円と比較しながら日常のどの場面において有用な図形であるかを考えた。その際、円との面積比を計算によって導き出した。式の立て方やその計算など、グループで話し合いをしながら粘り強く問題に取り組もうとしていた。

【ゼミの様子】



第5回

日時：令和7年5月26日（月）14：50～15：50

【内容】

ゲーム理論

「囚人のジレンマ」について学び、回数が1回もしくは有限回数の場合は相手を裏切った方が利益があることや、有限ではない場合は協力した方が良いことを演習を通して確認した。身近な事柄に結びつけやすい内容であり、参加生徒も興味を持って取り組んでいた。

【生徒の感想】

ア) 囚人のジレンマは公共の授業で学んだけど、繰り返し行くとどうなるのか、どの選択をすると自分にとって利益が出るのかを考えることができて楽しかったです。

イ) 今日のゼミを通して、囚人のジレンマのようなことは日常にも多く存在しているとわかりました。互いの選択が互いに影響し合うような事柄は、囚人のジレンマのようなパターン以外にも多くありそうなので、色々調べてみたいと感じました。

りこれからもゼミを続けてほしいです。内容が知らないことばかりなので、受けていてとてもおもしろいです。生徒会の仕事が入るので行く機会は少なくなるかもしれませんが、今後とも続けて通いたいです。

I)世の中には変わったことを本気で考えている人もいるとわかった。

第6回

日時：令和7年6月2日（月）14：50～15：50

【内容】

正規分布

サイコロ20個を100回投げたとき、1の目の個数をx軸、その個数の時の回数をy軸としたヒストグラムをテーマとした。実際にサイコロを投げる試行を行い、データを記録しながらヒストグラムを完成させ、正規分布について理解を深めた。その後、模試の平均点と標準偏差を用いて正規分布についての演習を行い、身近なデータの持つ意味について確認していた。

第7回

日時：令和7年6月9日（月）16：00～17：00

【内容】

複利計算

積立NISAについてテレビ等で報道されているが、毎年40万円を20年積み立て、年利5%だった場合に元金がいくらになるかを、等比数列を用いて計算した。数列の公式が社会でどのように用いられているかを知ると同時に、多くの利益が得られることに生徒たちは驚いていた。さらに、3000万円を年利2%で35年返済とした場合を、等比数列を用いて計算をし、その結果に生徒たちは驚いていた。

第8回

日時：令和7年6月16日（月）16：00～17：00

【内容】

あみだくじ

あみだくじの行き先が重複しないことを、数学的帰納法を用いて証明した後、行き先が想定通りになるようなあみだくじにするためには、どのように線を引けば良いかについて考える演習を行った。

第9回

日時：令和7年7月14日（月）16：00～17：00

【内容】

必勝法を考える

「論理的思考力を鍛える」をテーマに、トランプゲーム（ポーカー）の必勝法を考えるゼミを行った。議論を重ねる中、最終的に生徒は必勝法を見つけだせていた。

【ゼミの様子】



第10回

日時：令和7年9月8日（月）16:00～17:00

【内容】

チンチロを分析してみよう

3つのサイコロを用いたゲーム「チンチロ」を扱った。出たサイコロの目によって役があるが、それぞれの役の出現確率について予測した。その後、ゲームを体験し、事前に算出した出現確率の妥当性を確かめた。

第11回

日時：令和7年10月20日（月）16:00～17:00

【内容】

計算尺

1970年代まで実際に用いられていた計算のための道具である”計算尺”を用いて、実際に基本的な計算方法を学んだ。計算尺の本質は、対数の性質を利用したものであるため、最近授業で学習した内容とリンクし、理解を深めることができた。

第12回

日時：令和7年10月27日（月）16:00～17:00

【内容】

握手問題

「握手問題」という論理的思考を要する問題について考察した。具体的に図を書いたりイメージする中で、必要な情報を正しく読み取り、正しい解答まで到達することができた。また、より一般化した場合（ n 人）についても考察した。

○第13回

日時：令和7年11月10日（月）16:00～17:00

【内容】

容積を最大にする立体の考察

折り紙を折ってふたのない立体を作るときの、容積が最大となる立体の形状を考えるゼミを行った。直方体に限らず、円柱型や船型等、自由な発想で考察した。なお、この問題は未解決問題であり、石川県立金沢泉丘高等学校理数科が過去に課題研究のテーマとして取り組んだものである。

(<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/izumih/wysiwyg/file/download/30/2058>)

第14回

日時：令和7年11月17日（月）16:00～17:00

【内容】

ベクトルを用いた既知の定理の証明

直近でベクトルについて学習したこともあり、その有用性について確認するゼミを行った。具体的には、既知の公式等をベクトルという考え方を用いて証明する方法について考察した。考え方次第で簡単に証明できることに驚く生徒が多くいた。

第15回

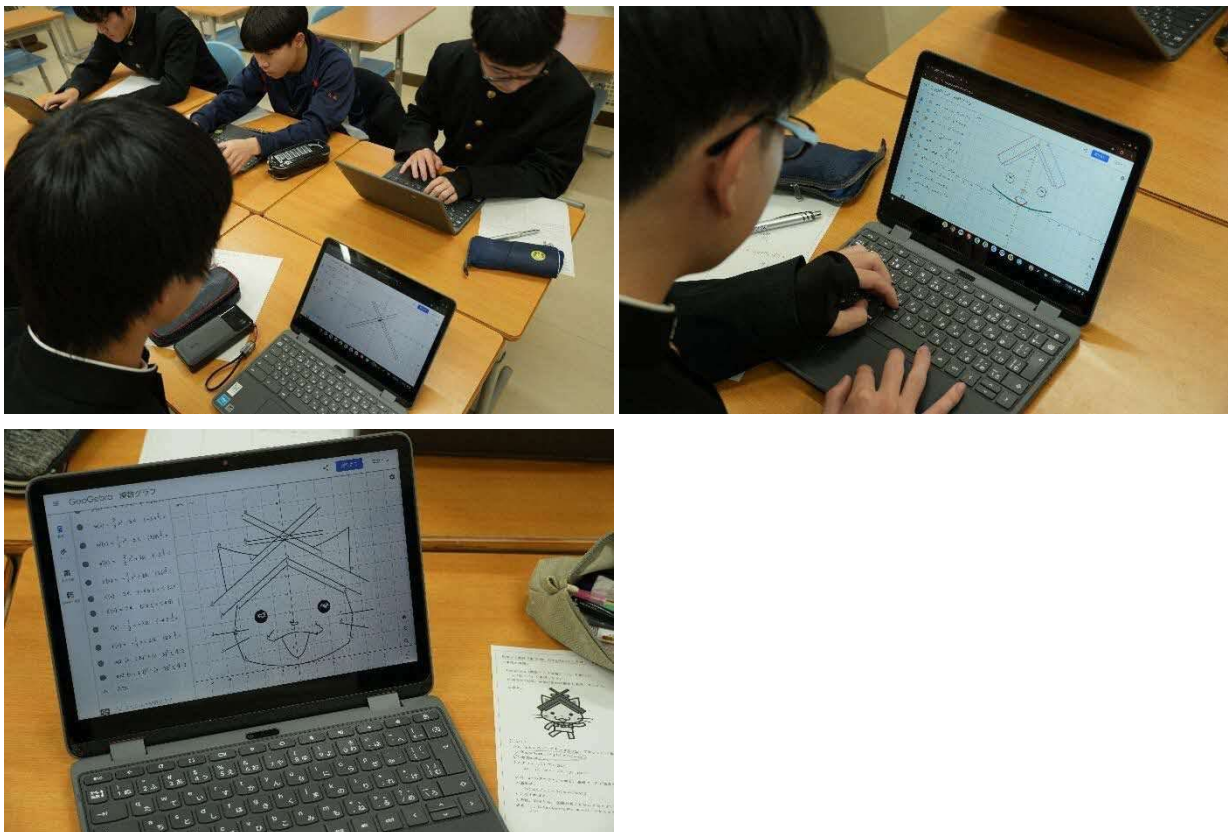
日時：令和7年12月8日（月）16:00～17:00

【内容】

グラフ作成アプリを用いてしまねっこを表現しよう

これまでに学習した関数の知識を用いて、グラフ作成アプリ上にしまねっこを表現するゼミを行った。曲線をうまく表現するために、関数の一部を切り取ってつなぎ合わせるなど、各自創意工夫が見られた。既習事項をゼミメンバーに確認したり協議をするなどして各々の作品を作った。

【授業の様子】



第16回

日時：令和7年12月15日（月）16:00～17:00

【内容】

Σ の公式を導出しよう

数列の和を求めるために使用する Σ の公式の証明を行い、また、教科書には出て

こない4乗の和を求める公式の導出を実際にさせた。n乗までの和の公式が分かると、(n+1)乗の和の公式が求められるため、生徒は実際に手を動かしながら、試行錯誤し、証明にたどり着いていた。粘り強く計算する力を身に着けさせることができた。

第17回

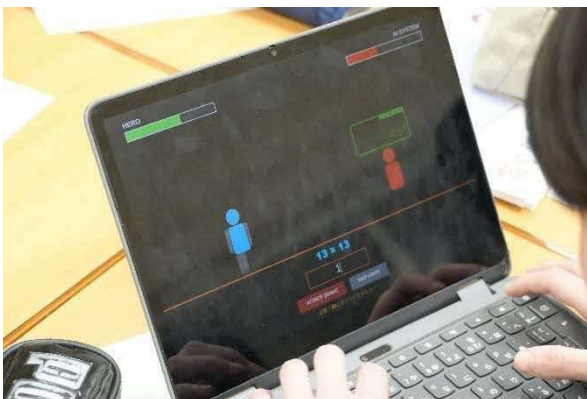
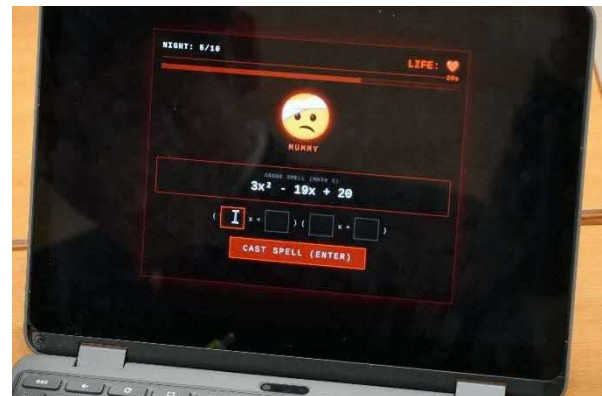
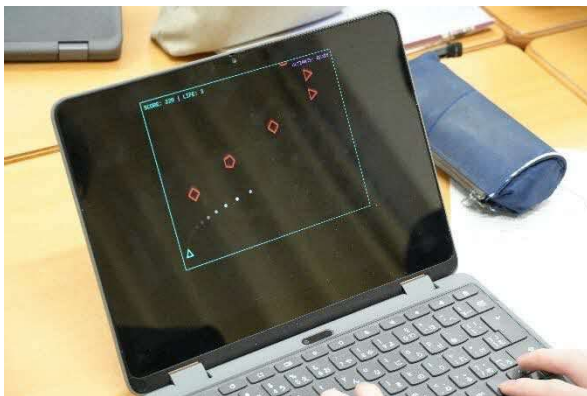
日時：令和8年1月26日（月）16:00～17:00

【内容】

生成AIを用いて、アプリを開発しよう

生成AIを用いて、数学的要素（公式や定理、計算、パズル、論理的思考など）を含むアプリを開発するゼミを行った。生成AIと、作りたいアプリの構想について壁打ちさせ、生成AIが作成したコードを生徒端末内でテキストファイルとして入力しhtmlファイルで出力することで、アプリを作った。計算を迅速に行うことで、敵を倒すゲームを作った生徒や、銃の玉の軌道が様々な関数の形を描くシューティングゲームを開発した生徒もいた。生徒の柔軟な発想で面白いアプリが作られていて、授業者は感心していた。生徒の食いつきも良く、ゼミの後も引き続きどうしたら面白いアプリが作れるか協議をしている様子が印象的だった。

【授業の様子】



3. デジタル講座

グランドデザインとの関連：情報活用能力

(1)前期

株式会社 Nex-E の大庭成晴氏を講師とし、全8回の講座を開始した。15名の生徒が参加申し込みをした。

第1回

日時：令和7年4月23日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

講座の概要説明の後、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、ディスプレイについて実際に使用する体験を行った。生徒は各機器の性能について興味を持っていた。今後の創作活動に向けての意欲向上や、チーム作りにつながった。

【講座の様子】



第2回

日時：令和7年4月28日（月）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

株式会社 Nex-E の会社紹介ビデオを視聴した後、この動画作成のためにシナリオや絵コンテを作成したことについて説明があった。その後、生徒は2グループに分かれ、スプレッドシートの共同編集機能を用い、どのような動画を作成するかについてアイデアを共有した。次回までに動画や静止画を撮影してくることを宿題とし、必要に応じて撮影機材を貸し出した。

当日は、益田市立益田小学校教諭の視察もあった。

【講座の様子】



第3回

日時：令和7年5月16日（水）15：40～16：40

会場：HAN-KOH

【内容】

自分たちで撮影した写真を確認した後、動画に使う音源を音源サイトから検索し、どの場面に用いるかを構想シートの中に記入した。次回までにさらに動画を撮影することを課題とした。

【講座の様子】



第4回

日時：令和7年5月26日（月）15：10～16：10

会場：Amane

【内容】

作成する動画について、具体的な協議や制作が始まった。話し合いをする中で、構想が似ている生徒同士でグループを作成した。今までに撮った静止画や動画をもう一度見直し、必要な映像を撮影し、翌週の講座に持ち寄ることを確認した。

【講座の様子】



第5回

日時：令和7年6月2日（月）15：10～17：00

会場：Amane

【内容】

動画作成アプリを用いて、動画の編集作業を本格的に開始した。前回決定したグループ毎に、自分の個人端末をモニターに繋ぎ、ヘッドセットを用いて音声を確認

しながら編集作業を進めていた。グループ内で編集担当と画像や操作方法の検索担当に分かれて効率よく作業を進める姿や、講師が説明していないアプリの使い方を自分で見つけて編集を進める姿もあった。参加者は集中して作業を行い、時間が経つのを忘れていたようだった。

【講座の様子】



第6回

日時：令和7年6月18日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

動画の編集作業を継続して行った。週末に行われたJAMの写真等も使えるようにし、作業を行った。事前にしっかりとしたシナリオができていたため、作業は早く学校紹介動画を1つ作成することができた。

第7回

日時：令和7年7月2日（火）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

動画作成アプリを用いて、動画の編集作業を本格的に開始した。前回決定したグループ毎に、自分の個人端末をモニターに繋ぎ、ヘッドセットを用いて音声を確認しながら編集作業を進めていた。グループ内で編集担当と画像や操作方法の検索担当に分かれて効率よく作業を進める姿や、講師が説明していないアプリの使い方を自分で見つけて編集を進める姿もあった。参加者は集中して作業を行い、時間が経つのを忘れていたようだった。

第8回

日時：令和7年7月14日（月）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

動画を完成させ、上映会を行った。30秒のショート動画1本と、2分程度の動画3本が完成した。完成した動画はそれぞれ、JR通学生の視点、寮生の視点、周囲の大人に着目した点から編集されたものであり、類似した素材を用いてもそれぞれに個性が見られた。

7月28日（月）オープンスクールの全体説明会にて、完成した動画を上映した。

(2)後期

前期講座受講者より、継続して受講したいという希望もあり、Nex-Eの大庭成晴氏と新たに宮内氏を講師として、デジタル講座を再び開講した。学校や校外の紹介する動画を作成し、年度末に披露することを目標としている。

第1回

日時：令和7年10月29日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

今後の予定を確認した後、カメラの使い方について学習した。その後F値やシャッタースピードを変更することで、より被写体を鮮明に撮影する方法について、演習を通して学んだ。

第2回

日時：令和7年11月5日（金）15：40～16：40

会場：ふらっとルーム

【内容】

新しい動画についてどのような構成にするかを検討した。

第3回

日時：令和7年11月19日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

アプリを用いて動画のオープニング部分の作成をした。

第4回

日時：令和7年12月3日（水）15：40～16：40

会場：会議室

【内容】

どのような構成で動画を作成するか検討し、新たに必要な写真や動画について確認した。

【講座の様子】



第5回

日時：令和8年1月9日（金）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

どのような構成で動画を作成するか検討し、新たに必要な写真や動画について確認した。具体的な撮影計画も考えた。

第6回

日時：令和8年1月23日（金）15：40～16：40

会場：ふらっとルーム

【内容】

撮影してきた画像を確認し、動画の構成を考えた。

第7回

日時：令和8年1月28日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

撮影してきた画像を確認し、動画の構成を考えた。また、新たな撮影計画を考えた。

第8回

日時：令和8年2月2日（月）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

撮ってきた写真や画像を整理し、動画の構成を考えた。

第9回

日時：令和8年2月9日（月）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

動画の編集作業を進めた。

第10回

日時：令和8年2月25日（水）13：00～14：00

会場：Amane

【内容】

動画の編集作業を進めた。

第11回（予定）

日時：令和8年3月9日（月）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

作成した動画を発表し、活動を振り返る予定。

4. 部活動での大会企画

グランドデザインとの関連：情報活用能力

グローバル・ラボ部が主催するタイピング大会を、株式会社 Nex-E 様の支援を受けて実施することになり、打ち合わせを行った。

第1回

日時：令和7年5月15日（木）14：00～15：30

会場：Amane

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏

本校1年生5名、2年生2名、教員3名

【内容】

最初に生徒が実施案についてのプレゼンを行い、株式会社 Nex-E 様より意見をいただいた。以下のような内容が協議された。

- (1) タイピング大会のルール
- (2) タイピング大会を本校の文化部合同公演である JAM のイベントの一部として実施すること
- (3) タイピング大会当日スケジュール
- (4) 大会までの実施日程
- (5) 参加者を募る方法

次回の打ち合わせ日程を決定し、当日や準備日程について協議することとした。

【協議の様子】



第2回

日時：令和7年5月21日（水）15：10～16：10

会場：ふらっとルーム（ハイブリッド）

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏、蒔田将大氏

本校1年生5名、2年生2名、教員3名

【内容】

- (1) イベント当日の日程および使用するタイピングアプリについて

JAM 参加部活動の代表で行われた日程調整において、他の部の発表と平行し体育館2回ギャラリーにて予選を行うこと（約1時間）、上位8名によるトーナメントをステージにて行うこと（30分）が決まったと生徒より報告があった。また、生徒が使用することを考えていたアプリは、タイプする文字が難しいため取り組みにくいという報告もあった。そこで、親しみのあるアプリを探し、次回打ち合わせまで

に当日の日程と使用するアプリを決定することとした。

(2) チラシについて

チラシの内容および配布方法について確認した。参加者を集めるためにはチラシを置くのみならず、個人に声をかけることが大切であることが指摘された。チラシについても、次回打ち合わせまでに修正し、その後配布することとした。

(3) 景品について

マグカップ等を株式会社 Nex-E 様よりご提供いただけることとなった。

第3回

日 時：令和7年5月26日（月）16：30～17：30

会 場：ふらっとルーム（ハイブリッド）

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏、蒔田将大氏

本校1年生5名、2年生2名、教員1名

【内容】

(1) 使用するタイピングアプリおよび当日の動きについて

生徒が新たに提案したアプリを用いることとし、予選と決勝において利用するコースを変えることとした。また当日のスタッフの動き方の確認や、時間が想定よりも長くなった場合、短くなった場合などの確認をし、詳細を検討していくこととした。

(2) チラシの配布および集客方法について

チラシの配布については、公民館に置かせていただいたり株式会社 Nex-E 様にインターネット上にて公開していただくこととした。

【協議の様子】



第4回

日 時：令和7年6月4日（水）16：30～17：30

会 場：ふらっとルーム（ハイブリッド）

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏、蒔田将大氏

本校1年生3名、2年生3名、教員1名

【内容】

(1) 前回の打ち合わせ以降に行ったことについて

チラシの配布を、5月30日に JAM 出演部活動で協力して行ったことについて報告があった。公民館や町内の商業施設などに配布したが、Nex-E さんにもご協力頂いて、配布続けることとした。また、参加者人数の集まりが低調であることから、個別に声をかけたりすることが必要であるという指摘を受けた。

(2) イベント当日の日程

当日の日程について、分刻みの日程案を見ながら確認作業をした。会場のレイアウトやスタッフの人数なども確認した。受付や景品の授与など細部まで計画されていたが、体育館中央にて決勝戦を行う際の機材設置についてのリハーサルが未実施であり、予定通り機材が動くか疑問が残ったため、確認することとなった。

(3) 参加賞について

参加賞のマグカップと一緒に本校の紹介などを渡すこととした。

第5回

日 時：令和7年6月11日（水）16：30～17：30

会 場：ふらっとルーム（ハイブリッド）

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏、蒔田将大氏

本校1年生5名、2年生2名、教員1名

【内容】

(1) 参加申し込み人数について

目標の30名に達しなかったが、当日参加者を募って30名にすることとした。

(2) リハーサルについて

6月13日放課後よりリハーサルができるため、様々な想定をして行うことを確認した。

第6回

日 時：令和7年6月16日（月）15：40～16：40

会 場：ふらっとルーム（ハイブリッド）

参加者：株式会社 Nex-E 熊田洋子氏、大庭成晴氏、蒔田将大氏

本校1年生3名、2年生2名、教員1名

【内容】

タイピング大会の振り返り

大会運営についての良かった点や改善点をスプレッドシートにまとめ、約30項目共有した。会場の設計や準備物や演出といった部分を良かった点として挙げ、ステージ進行との時間調整や参加者の集め方、説明不足の点が課題点として挙げた。部として次年度もイベントを実施したいという意思を確認し、今回の振り返りの内容を部内の財産としていくことを確認した。

【タイピング大会＜6月14日＞の様子】



5. デジタル活用推進委員資格取得講座

グランドデザインとの関連：情報活用能力

デジタル庁の資格であるデジタル活用推進委員を取得するための講座を、株式会社 Nex-E の大庭成晴氏を講師として開始した。18名の生徒が申し込みをした。

第1回

日時：令和7年7月17日（木）16：30～18：00

会場：Amane

【内容】

デジタル推進委員の資格および今後の講座日程の説明の後、講師になるために必要なスキルについて講義があった。参加者は演習をしながら自分のスキルについて確認し、改善を図った。

第2回

日時：令和7年9月16日（火）16：30～18：00

会場：Amane

【内容】

10月26日（日）に「シルクウェイにちはら」にて行われるイベントの一角に、「スマホ講座」のブースを設けることになった。その準備として、イベントのチラシ作りや実施内容について6人ずつの3グループに分かれ、作業を進めた。

第3回

日時：令和7年10月6日（月）15：40～16：00

会場：Amane

【内容】

10月26日（日）に行うスマホ教室のチラシや、当日の流れについて確認をし、当日に向けて最終準備をした。

第4回

日時：令和7年10月26日（日）9：30～12：30

会場：シルクウェイにちはら

【内容】

参加者が3つのグループに分かれ、各グループ1時間ずつブースにてスマホ講座を実施した。シルクウェイにちはらで行われていたイベント参加者にスマホ講座への参加を呼びかけ、参加者に対して丁寧に使い方を説明した。15名程度の参加者があった。

【講座の様子】



第5回

日時：令和7年12月17日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

10月26日（日）に行ったスマホ教室の振り返りをし、資格取得に向けて書類の作成等をした。

【講座の様子】



6. ビジネスマナー講座

グランドデザインとの関連：知識・技能

株式会社 Nex-E 様に、校外の方と情報をやりとりする際のマナーについて講座を開催していただいた。

【講座の概要】

日時：令和7年9月13日（土）9：30～12：00

会場：Amane

参加者：生徒13名

【内容】

ビジネスマナーの基本である名刺交換の講習から始まり、メールを送信する際の作法や言葉遣いなどについて教えていただいた。

【講座の様子】



7. Google for Education 事例校サミットへの参加

グランドデザインとの関連：知的好奇心

本校は Google for Education 事例校プログラム（現 Reference Program）に参加しており、参加校同士が集まり交流する事例校サミットへ参加した。主催者によってプレゼン登壇者として選出された2年生3名に、引率教員1名が同行して参加した。

【概要】

日時：令和7年9月20日（土）13：30～17：00

会場：グーグル合同会社渋谷オフィス

【内容】

グローバル・ラボ部に所属する登壇者3名が、日頃の部活動の様子や普段どのように Chromebook™ を活用しているかについて、他校の教員や生徒を前にしてプレゼンをした。また、その後の交流会にて意見交換をすることで、今後の活動への意欲を高めていた。特に、他校ではAIの活用が進んでいることを知り、AIへの興味関心を高めていた。

【イベントの様子】



8. プログラミング講座

ランドデザインとの関連：情報活用能力

タイムカプセル株式会社相澤謙一郎氏と社員の方を講師として、プログラミング講座を開講した。Unity を用いたゲームの作成を学んでいく。

第1回

日時：令和7年12月3日（水）15：40～16：40

会場：Amane

【内容】

Unity の初期操作の仕方や、ブロックの配置の仕方について学んだ。

【講座の様子】



第2回

日時：令和8年1月15日（木）16：40～17：40

会場：Amane

【内容】

Unity のテンプレートを使いながら、パズルゲームの製作に取り組んだ。

第3回（予定）

日時：令和8年3月6日（金）15：40～17：10

会場：Amane

【内容】

Unity を使ったゲーム制作を行う予定。

9. 学校設定科目の計画作成

次年度から始まる学校設定科目について、各回ごとの計画を連携企業に依頼をし、その大枠が完成しつつある。今後は、日程調整などを年度末に向けて行う予定。

(1) 総合コース 「情報活用」 3単位

第1章 情報セキュリティとAI活用 担当：株式会社アドレス	
回	内容
第1回	SNSの特徴とリスクを理解する
第2回	AIの種類と正しい向き合い方を知る
第3回	実社会での活用事例から学ぶ
第4回	AIを使って課題解決を試す
第5回	SNSを目的別に使い分ける力を身につける

第2章 プレゼンテーションとデータ活用 担当：株式会社アドレス	
第1回	データを理解し、伝わる形にまとめる基礎を学ぼう
第2回	データの種類と正しい読み取り方を学ぼう
第3回	伝わるプレゼンの構成を考えよう
第4回	スライドデザインの基本を身につけよう
第5回	伝わるスライドの完成度を高めよう
第6回	感情に届くスライドを設計しよう
第7回	声と表情で伝えるプレゼン練習をしよう
第8回	チームでテーマを決めて発表準備を進めよう
第9回	課題テーマを設定しよう
第10回	データを収集して整理しよう
第11回	グラフでデータを可視化しよう
第12回	データから読み取れることを整理しよう
第13回	データの信頼性を確認しよう
第14回	プレゼン資料を整理しよう
第15回	リハーサルで改善点を見つけよう
第16回	本番発表①（前半グループ）
第17回	本番発表②（後半グループ）
第18回	発表の振り返りを行おう
第19回	優秀発表の共有と講評を聞こう
第20回	学びのまとめと次へのステップ

第3章 地域についての課題発見演習① （津和野高校 Web サイト改善） 担当：株式会社 Nex-E	
第1回	Web サイト改善の目的を理解しよう
第2回	Web マーケティングの基礎を学ぼう
第3回	津和野高校 Web サイトを分析しよう

第4回	ターゲットを明確にしよう
第5回	Web コンテンツの目的を考えよう
第6回	Web 課題の全体像をまとめよう
第7回	課題を整理し、改善テーマを決めよう
第8回	ターゲットに響くコンテンツを考えよう
第9回	改善案を企画書にまとめよう
第10回	改善計画を発表しよう
第11回	Web デザインの基本を学ぼう
第12回	UX と UI を意識した改善を考えよう
第13回	SEO の基礎を学び、検索されるサイトを設計しよう
第14回	デザインモックアップを作成しよう
第15回	改善案を Nex-E へ提案しよう
第16回	Nex-E との連携ミーティングを行おう
第17回	Web コンテンツ制作を始めよう
第18回	Web ページのデザインを仕上げよう
第19回	完成したページを Web に反映しよう
第20回	制作を振り返り、次の改善へつなげよう
第21回	Web 改善の効果をデータで確認しよう
第22回	データから成果と課題を整理しよう
第23回	Web 改善の成果をまとめてプレゼンする
第24回	成果発表会と全体振り返り

第4章 地域についての課題発見演習② (関係人口創出のための施策) 株式会社アドレス	
第1回	関係人口と二地域居住・多拠点生活を知る
第2回	津和野の拠点に関する役割と特徴を知る
第3回	稼働状況データから拠点の実態を知る
第4回	関係人口の視点で課題を考える
第5回	利用者データから関係人口像を読み取る
第6回	アンケート・ヒアリングで行動を確かめる
第7回	データと人の声を重ねて全体像を見る
第8回	課題を仮説として整理する
第9回	課題仮説から施策の軸を決める
第10回	施策アイデアを具体化する
第11回	施策の効果を予測する
第12回	施策案を共有し、磨き上げる
第13回	施策を実行に移すための計画を立てる
第14回	情報発信コンテンツを作成する①
第15回	情報発信コンテンツを作成する②
第16回	計画した施策を実行に動かす
第17回	実行結果をもとに振り返る
第18回	改善の方向性を整理する

第19回	施策実行後の変化をデータで捉える
第20回	数値と実行時の気づきを結びつける
第21回	施策と結果を文章で整理する
第22回	伝わる発表資料を作成する
第23回	学びを共有し、意見を受け取る
第24回	活動のまとめと自己評価

第5章 オープンカンパニー	
担当：株式会社アドレス 株式会社 Nex-E	
第1回	オープンカンパニーの目的を理解しよう
第2回	企業の現場を観察し、素材を集めよう
第3回	社長インタビューを撮影しよう
第4回	実務体験と追加撮影を行おう
第5回	課題解決アイデアを考えよう
第6回	動画編集を進めよう
第7回	成果発表と企業からのフィードバック
第8回	動画公開と振り返りをしよう

第6章 地域課題の発見と新規プロダクト提案 (オリジナルテーマの研究・発表)	
担当：株式会社 Nex-E	
第1回	津和野町を多角的に理解しよう
第2回	地域の強みと課題を整理しよう
第3回	課題をデータで裏付けよう
第4回	研究テーマを設定しよう
第5回	調査の目的と方法を整理しよう
第6回	アンケートを設計してみよう
第7回	地域の方へのヒアリングを計画しよう
第8回	調査結果を整理し、課題を深掘しよう
第9回	アイデアを広げよう
第10回	アイデアを整理して方向性を決めよう
第11回	プロダクトの形を考えよう
第12回	プロダクト企画を発表しよう
第13回	プロダクトの構成を設計しよう
第14回	モックアップや試作品を作ってみよう
第15回	プロダクトを見せる資料構成を考えよう
第16回	スライドデザインを整えよう
第17回	プレゼンの伝え方を練習しよう
第18回	プレゼン資料を最終整理しよう
第19回	成果発表会の目的と準備を確認しよう
第20回	成果発表会（前半）
第21回	成果発表会（後半）
第22回	発表内容を振り返り、学びを整理しよう

第23回	地域の方や関係者へ成果を共有しよう
第24回	最終共有会と授業の総括

(2) 探究、自然科学コース 「データサイエンス実践」 1単位

第1章 情報セキュリティとAI活用 担当：株式会社アドレス	
回	内容
第1回	SNSの特徴とリスクを理解する
第2回	AIの種類と正しい向き合い方を理解する
第3回	実社会での活用事例から学ぶ
第4回	AIを使って課題解決を試す
第5回	SNSを目的別に使い分ける力を身につける

第2章 プレゼンテーションとデータ活用 担当：株式会社アドレス	
第1回	データとプレゼンが果たす役割を理解する
第2回	データを読み取り、見やすく表す
第3回	分かりやすい話の構成を身につける
第4回	見やすく伝わるスライドを作る
第5回	短時間の発表を通して「伝える」感覚をつかむ
第6回	身近なテーマを決め、データを集め始める
第7回	集めたデータを整理し、見える形にする
第8回	データ構成をまとめてスライドにする
第9回	(成果発表会) データを使って分かりやすく伝える
第10回	学んだことを振り返り、次に繋げる

第3章 地域課題の発見と新規プロダクト提案 (オリジナルテーマの研究・発表) 担当：株式会社 Nex-E	
第1回	津和野町を多角的に理解し、地域の強みと課題を整理しよう
第2回	課題をデータで裏付けよう
第3回	研究テーマを設定しよう
第4回	調査の目的と方法を整理しよう
第5回	アンケートを計画し、ヒアリング計画を立てよう
第6回	調査結果を整理し、課題を深掘しよう
第7回	アイデアを広げよう
第8回	アイデアを整理して方向性を決めよう
第9回	プロダクトの形を考え、企画し発表しよう
第10回	プロダクトの構成を設計しよう
第11回	モックアップや試作品を作ってみよう
第12回	プロダクトを見せる資料構成を考えよう
第13回	スライドデザインを整えよう
第14回	プレゼンの伝え方を練習し、資料の最終調整をしよう

第15回	成果発表会の目的と準備を確認しよう
第16回	成果発表会（前半）
第17回	成果発表会（後半）
第18回	発表内容を振り返り、学びを整理しよう
第19回	地域の方や関係者へ成果を共有しよう
第20回	プロジェクト全体の振り返りと内省

vi 新学科の広報活動についての取組

1. 教育改革の目的と新学科の設置

昨年度に引き続き、令和7年度（2025年度）からは、従来の普通科を転換し、「未来共創科」（定員 80 名）を設置したこと、さらに、この改革は、「新時代に対応した高等学校改革推進事業」および「高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）」の採択を受けて進めていることを周知した。本校は、予測不能な新しい時代に対応した教育を実践するため、これまでの「教科学習」と「探究学習」に「情報活用」を加え、さらに「特別活動等」を合わせた**4本の柱**をカリキュラムの軸として、デジタルスキルを活用して進路選択の幅を広げ、多様な仲間とともに未来を創る人材の育成を目指している。



（学校説明会用資料）

2. 新学科の特色や学習内容の発信

(1) 教育内容の周知

広報活動においては、以下の4本柱を重点的に説明した。

①教科学習

主体性と対話を重視した「協調学習」や、ICTを活用した個別指導、希望者補習の実施。

②探究学習

地域との出会いを通じて「さがす」、プロジェクトを「やってみる」、経験を未来へ「つなぐ」の3ステップによる学び。

③情報活用

ICTが「当たり前」に存在する環境を整え、日々の授業や朝礼、進路指導で活用。ICTスキルの高い教員による指導体制をアピール。

④特別活動等

個性豊かな部活動や地域活動を通じた主体性の育成。



(学校説明会用資料)

(2) コース制と進路

2年次からの3つのコース（自然科学、探究、総合）について、それぞれの進路目標（理系・文系大学進学、専門学校、就職など）に合わせた手厚い指導内容を周知した。

(3) 入学者選抜の変更

令和7年度入試から始まった「総合選抜」だが、今年度は「学業」「部活動等」「社会活動」の3区分のうち、「社会活動」を「社会活動または情報活用」と変更した。

3. 生徒募集イベント・説明会の実施状況

(1) 近隣中学校での説明会

6月から7月にかけて、近隣の11校および吉賀地区3校を訪問し、学校概況の説明を行った。

実施校：美都中、津和野中、益田中、高津中、東陽中、浜田東中、中西中、日原中、横田中、益田東中、吉賀地区（六日市中・吉賀中・柿木中）。

(2) オープンスクール（場所：本校）

新学科への理解を深めるため、体験授業や部活動体験、新寮（正徳寮）の見学などを実施した。また、本校グランドデザインにある「育てたい資質・能力」の中の「発信力」「表現力」「対話力」を高めるため、在学生在が探究学習の成果を発表し、自分の高校生活や津和野高校の魅力を語る「生徒トーク」を実施した。

第1回（7月28日）：93組参加（昨年127組）

第2回（10月4日）：39組参加（昨年55組）



（探究学習の発表）



（生徒トークの様子）

(3) 地域みらい留学・しまね留学（対面・オンライン）

県外生募集のため、東京・大阪での対面説明会や、テーマ別のオンライン説明会に積極的に参加した。

①対面説明会

ア) 東京（6/21、22、22組参加）

イ) 大阪（7/12、13、29組参加）

②オンライン説明会

ア) しまね留学合同説明会（5/18、11/15）

イ) 地域みらい留学テーマ別説明会（5/29、10/15）

ウ) 地域みらい留学オンラインフェス（5/31、7/5、8/2）



（対面説明会の津和野高校ブース）

(4) 第2回中高連絡会

中学校の進路担当教員に令和8年度入学者選抜について説明する前に、未来共創科での取り組みについて説明した。

【期日】

令和7年11月28日（金）15：00～16：00

【参加者】

近隣の中学校（15校）の教員-対面参加10名、オンライン参加5名

【スライド資料の一部】

連携の概要
津和野町教育委員会
・高校魅力化への支援

津和野町
・IT企業の誘致

IT企業
EQUIPMENT

島根県
・出前授業支援
・課外講座実施
・進学支援

津和野高校

共創

本校のコースとの関係

総合 幅広い教養	探究 探究重視文系	自然科学 理系
情報活用 (3単位)	データサイエンス実践 (2単位)	データサイエンス実践 (2単位)
プログラミング応用 (3単位、選択)		プログラミング基礎 (1単位)

目的①
学びの支え

目的②
経験

デジタル表現を学ぶ
芸術（音楽、美術と
の選択）

探究活動の時間を増
やし、思考を広げる

学校設定科目の目的①

教科学習や探究活動を下支える
情報を活用した課題解決能力を身
につける

自分の主張に対する論理的根拠
粘り強く課題解決に取り組む姿勢

学校設定科目の目的②

デジタル技術に直接触れる経験を通して、
思考や視野の幅を広げる

進路選択
問題解決
技術の裏側
など

授業1

情報Ⅰ 出前講座実施

情報デザイン
(益田工房様)

プログラミング
(タイムカプセル様)

授業2

対話を通して学ぶ
教科横断的で探究的な授業

数学×情報
数式をプログラミング
で確認

国語×情報
フェイクニュースの読み取り
オリジナル記事作成

課外活動1

デジタル講座

高性能機材を利用した
学校紹介動画作成

デジタル推進委員
資格取得

課外活動2

タイピング大会

打ち合わせ

大会の様子

(5) その他独自の説明会

① ツコウふらっと TALK

オンライン（6/6）および東京事務所での対面（8/5、8/7）を実施。

② 保護者のための進学トーク（10/24）

日原にて、オンライン 8 組、対面 2 組が参加。

③ 個別訪問

11 組が本校を訪問。

4. 探究学習の広報

「総合的な探究の時間」の活動内容を、広報の重要な要素として位置づけた。

(1) 1年生

「Feel °C Walk」や「ブリコラージュゼミ」の実施。特にブリコラージュゼミでは、3年生や1年生自身が講師を務めるアウトプットの機会を増やした点を強調した。

(2) 2年生

「探究学習発表会」に、近隣の中学生を招待し、津和野町の「教育フォーラム」と同時開催して地域の大人を招く等、様々な年代の人が探究学習について一緒に考える場を創出した。

(3) 3年生

探究学習を含む高校生活3年間の学びをマインドマップで振り返り、Google Siteを使って「自分史」にまとめた。自らの活動を言語化するこの活動が、進路実現にもつながった。

5. 学校生活

学校 HP やInstagramで、授業の様子や生徒のインタビュー動画を紹介した。生徒のインタビューでは、津和野高校を選んだ理由、入学後の変容等を語ってもらった。



(知識構成型ジグソー法の授業)



(生徒インタビュー)

6. まとめ

令和7年度入試では、新しく導入された「総合選抜」において、募集定員32人に対し76人の出願があり、中学生の主体的な志向が強く表れる結果となった。今年度の生徒募集説明会への参加者数については、オープンスクールなどで前年度を下回る項目もあったが、オンライン説明会や個別訪問を通じて、本校の「個を大切にす
る教育」や「ICT環境の充実」に関心を持つ層へのアプローチを継続した。今後も「未来共創科」での学びの姿を具体的に発信し、地域および全国から意欲ある生徒を募る活動を推進する。

IV 令和8年度に向けて

i 成果と課題

本校はグランドデザイン（138 ページ参照）に基づき、今年度「1. 安心・安全の担い手となる生徒」「2. ICT を活用して表現・発信する生徒」「3. 協働して価値あるものを創造する生徒」「4. 自己決定し粘り強く取り組む生徒」を重点目標に掲げた。特に普通科改革と DX ハイスクールの事業との関わりでは、2 の目標のうち「情報活用能力」や「表現力」・「発信力」を、育てたい資質・能力として教育活動を展開してきた。また、生徒が自身の現在地を確認するため、「育てたい資質・能力ルーブリック」（139 ページ参照）を作成し、それに基づいて各学期に1回ずつ（1・2年生は毎学期、3年生は1・2学期）5段階による自己評価を行った。ここでは、1学期当初と2学期末に行った「育てたい資質・能力ルーブリック」による自己評価を分析することで、今年度の教育活動の成果と課題を明らかにしたい。

上記の自己評価における情報活用能力と表現力、発信力の推移については以下の表の通りである。

	1年生		2年生		3年生		平均		
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	変化
情報活用	2.53	2.96	2.67	3.13	3.31	3.68	2.83	3.24	+0.41
表現	2.61	2.94	2.71	3.00	3.13	3.64	2.81	3.19	+0.38
発信	2.53	2.75	2.40	2.82	2.88	3.44	2.60	3.00	+0.40

各資質・能力とも、全ての学年で 0.4 ポイント前後伸びている。この伸びはどこから生じるのだろうか。

本校の総合的な探究の時間では、2年生で中間発表、3年生で自分史の発表と、2学期にその成果を発表する機会が設けられており、その際の情報収集や分析、発表には必ずと言っていいほど ICT が用いられている。そうした発表を終えた達成感から、このような伸びにつながったと考えられる。

また本校で1学期と2学期に行われた授業公開を見てみると、公開されたすべての授業で、生徒が個人端末を使う場面が設定されている。その上で、伸ばしたい資質・能力として情報活用能力・表現力・発信力を設定している教員が、1学期 12 人／23 人、2学期 14 人／24 人いた。実際年度末学校アンケート（生徒）でも、「本校の授業には、生徒が ICT を活用する場面がありますか」という質問に対する評価が 4 点満点中平均 3.8、同じく「本校の授業には、生徒が自分の考えや意見をまとめ発信する場面がありますか」に対して 3.7、「本校の授業は、ペアワークやグループワークを通して、対話的で深い学びになっていますか」は 3.6 と高い評価になっている。本校では、総合的な探究の時間だけでなく多くの教科・科目で、普段の授業から情報活用能力・表現力・発信力を育成すべく授業を展開していることが分かるだろう。

さらに、これらの力と連動して高い伸びを見せたのが、自己決定力（主体性）と知的好奇心である。（下表参照）

	1年生		2年生		3年生		平均		
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	変化
自己決定力	2.42	2.75	2.33	3.10	3.02	3.86	2.58	3.21	+0.62
知的好奇心	2.70	3.18	2.40	3.31	3.20	3.83	2.76	3.43	+0.66

探究や教科の授業において、（ICT を用いて）自分の考えや意見をまとめ発表する際の「自己決定」（主体性）が、学びを自分事として捉えさせ、それが生徒の

「知的好奇心」に結びついていると思われる。年度末学校アンケート（保護者）の自由記述に以下のものがあつた。「子どもは津和野高校の授業がとても面白く、毎回熱中して取り組んでいるようです。そのため授業時間があつという間に感じられ、テストや成績にも成果として表れており、達成感を持って学ぶことを楽しんでおります。…中略…子ども自身も『もっと新しい発見や驚きのある学びに触れたい』という期待を抱いており、主体的に取り組める環境が今後の成長に大きく影響すると考えております。引き続き、子どもたちが熱中し、学ぶ喜びを感じられる教育活動をお願い申し上げます。」まさに授業と主体性、知的好奇心の結びつきを端的に示しているのではないだろうか。

最後に今年度の課題を提示する。生徒個人の中で一番低い評価がついた資質・能力のうち、その人数が最も多かったものは「粘り強さ」であつた（24人）。生徒のコメントからは、「困難に直面した際の『諦め』」や「自己の意見を貫けない『流されやすさ』」、「計画・習慣の『継続的なコントロール』の難しさ」が理由として見て取れる。今後、さらに小さな成功体験を積ませていたり、身近なロールモデルを見せてやったりすることで、多少の困難に直面しても「自分にもできる」と取り組み続けることができる、そのような「粘り強さ」の育成にも手を広げていきたい。

- ii 10年を見通した学校経営について
 教育課程と資金について、以下のように方針をまとめた。

普通科改革支援事業推進ロードマップ

1. 教育課程

2. 運営資金

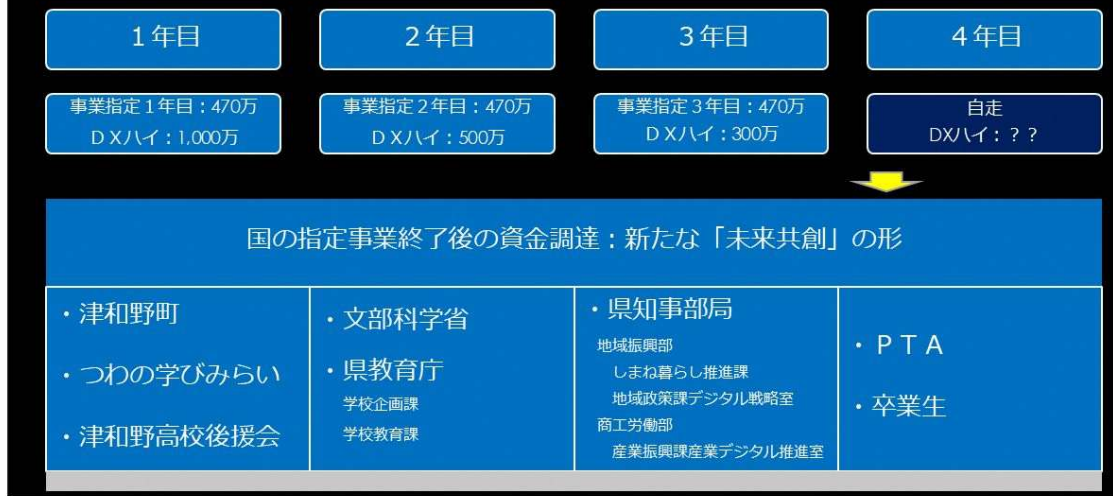
ツコウ
の
フツウ

島根県立津和野高等学校

10年のロードマップ（教育課程）

Ⅰ期（4年）	Ⅱ期（3年）	Ⅲ期（3年）
R6～R9（研究指定はR8まで）	R10～R12	R13～R15
開発と改善	改善と安定	安定と次期改革
<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 指導計画開発開始 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ ヴィジョン作成 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 指導計画完成 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 1期生入学 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 2年生新科目実践 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 3期生入学 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 3年生新科目実践 	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 探究学習に拡大 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 教科学習に拡大 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 課外活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ ヴィジョン見直し <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 次期改革検討 <li style="width: 33%; text-align: left; padding: 5px;">・ 改革の準備

I期(4年:開発と改善)のロードマップ(運営資金)



V 資料編

【未来共創科 1 期生教育課程表】

島根県立津和野高等学校 教育課程編成計画表

課 程	学 科	類 型 の 名 称
全 日 制	未 来 共 創 科	

令和7年度入学生

教科	科目	標準 単位数	1年	2年			3年			単位数 の合計	備考
				総合	探究	自然科学	総合	探究	自然科学		
国 語	現代の国語	2	2						2		
	言語文化	2	2						2		
	論理国語	4		2	2	2	2	2	4		
	文学国語	4		2	2		3	2	0~5		
	古典探究	4		3	3	1	2	3	3	4~6	
地理歴史	地理総合	2	2						2		
	地理探究	3		2	2	2	2	2	0~4		
	歴史総合	2	2						2		
	日本史探究	3		2	2	2	2	2	0~4		
	世界史探究	3		2	2	2	2	2	0~4		
公 民	公民	2		2	2	2			2		
	倫理	2					2	2	0~2		
	公民研究	学校設定科目					3		0~3		
数 学	数学Ⅰ	3	3						3		
	数学Ⅱ	4	1	3	3	3			4	1年次の1単位は数学Ⅰ履修後の履修	
	数学Ⅲ	3		1	1	1	4	4	0~5	2年次の1単位は数学Ⅱ履修後の履修	
	数学A	2	2						2		
	数学B	2		1	1	1	1	1	0~2		
	数学C	2		1	1	1	1	1	0~2		
	数学演習2	学校設定科目			1	1	1		0~1	2年次の1単位は数学Ⅱ履修後の履修	
数学演習3	学校設定科目					4	4	4			
理 科	科学と人間生活	2	2						2		
	物理基礎	2		2		2			0~2		
	物理	4				2		4	0~6	2年次の2単位は物理基礎履修後の履修	
	化学基礎	2	2						2		
	化学	4				2		4	0~6		
	生物基礎	2		2	1	2		1	2		
	生物	4				2		4	0~6	2年次の2単位は生物基礎履修後の履修	
自然科学研究	学校設定科目					2		0~2			
理科演習	学校設定科目						3	0~3			
保健体育	体育	7~8	3	2	2	2	2	2	7		
	保健	2	1	1	1	1			2		
芸 術	音楽Ⅰ	2	2						0~2		
	美術Ⅰ	2	2						0~2		
	書道Ⅰ	2	2						0~2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3						3		
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4	4			4		
	英語コミュニケーションⅢ	4					4	4	4		
	論理・表現Ⅰ	2	2						2		
	ベーシックイングリッシュα	学校設定科目		2	2	2			0~2		
	ベーシックイングリッシュβ	学校設定科目			2	2			0~2		
スタンダードイングリッシュ	学校設定科目						2	2	0~2		
家庭	家庭基礎	2		2	2	2			2		
情報	情報Ⅰ	2	2						2		
共通教科・科目単位数計			31	26~28	29	30	24~26	29	29	81~90	
家庭	保育基礎	2~6					ウ 2		0~2		
	フードデザイン	2~6		ア 2					0~2		
体育	スポーツⅡ	2~12					ウ 2		0~2		
音楽	演奏研究	2~6					エ 3		0~3		
	ソルフェージュ	2~6					イ 2		0~2		
美術	素描	2~18					イ 2		0~2		
	情報メディアデザイン	2~18					エ 3		0~3		
キャリアデザイン	情報活用	学校設定科目		3					0~3		
	プログラミング発展	学校設定科目						1	0~1		
	プログラミング応用	学校設定科目					エ 3		0~3		
	データサイエンス実践	学校設定科目			1	1		1	1	0~2	
専門教科・科目単位数計			0	3~5	1	1	5~7	1	2	2~12	
総合的な探究の時間			3~6	1	1	2	1	2	1	3~5	
自立活動			0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~2	0~6	
ホームルーム週あたり時数			1	1	1	1	1	1	1	3	
単位数及び週あたり時数の合計			33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	33~35	99~105	
学校設定科目単位数計			0	3~6	3~4	3~4	3~12	6~10	4~8	6~18	

(注)・地理歴史科の選択科目、数学Ⅲ、物理、生物は2~3年次の継続履修とする。

・自立活動は、学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障がいに応じた特別の指導。

【令和7年度 グランドデザイン】

島根県立津和野高等学校 グランドデザイン 【令和7年度】

学校教育目標：『世界で活躍する人を津和野町で育てる』
スローガン：『「やってみたい」を「やってみる」、自分らしく、だれかのために』
学校経営方針：『生徒そして地域の笑顔と幸せにつながる学校づくりを目指す』

グラデュエーション・ポリシー（育てたい生徒像）

未来社会の創造に仲間と協働して主体的に挑戦しようとする人

育てたい資質・能力

基礎力

自他の心身の健康
知識・技能
情報活用能力

課題発見力

知的好奇心
共感力
思考判断力

課題解決力

創造力
協働性
多様性活用能力

社会情緒的能力

表現力
対話力
発信力

キャリア探究性

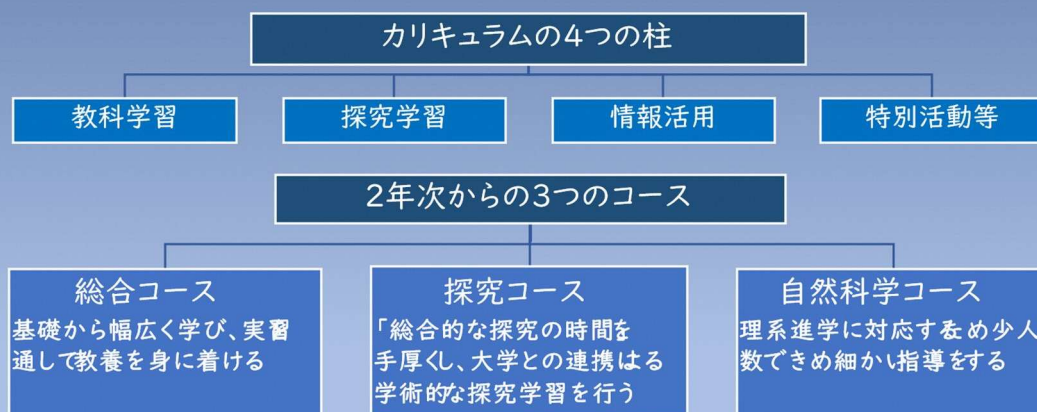
自己理解
自己決定力
粘り強さ

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

普通科(2・3年生)・未来共創科(1年生)：
両学科において普通科の枠組みの中で、新しい時代に対応した普通科教育改革に挑戦します

カリキュラムの特徴：情報活用では、データ活用能力とデジタル技能を未来の担い手の基盤となる能力として育成し、教科学習と探究学習の深化に応用していくことを目標とします

カリキュラム開発を支える文部科学省の2つの事業：『普通科改革支援事業』と『DXハイスクール事業』



アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 学びを大切に、学びに本気で向かう姿勢を持つ生徒
- (2) 自律心を持ち、自他を大切にする生徒
- (3) 社会との関わりに興味関心を持っている生徒
- (4) 向上心を持ち、成長しようとする生徒

津和野町での学びの土壌

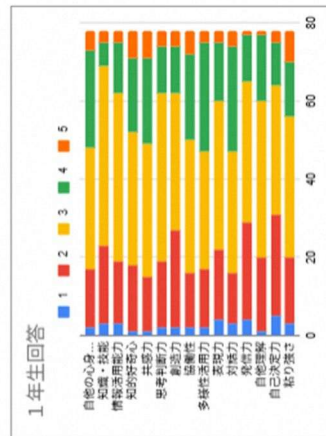
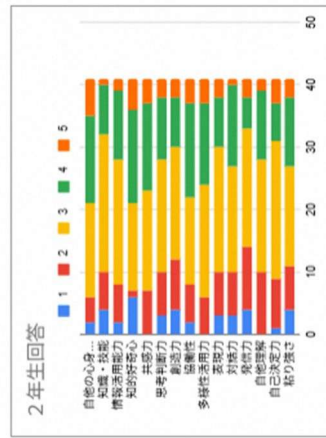
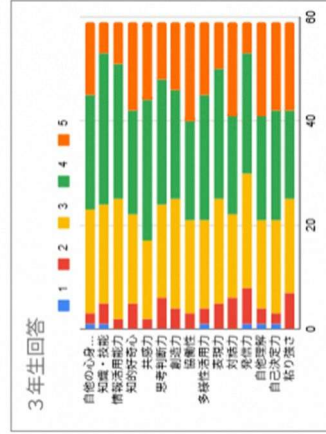
「津和野町役場」「つわの学びみらい」「津和野町のひと・もの・こと」「津和野町の関係人口のひと」
「津和野町の企業・事業所・団体」「津和野町の幼保小中」「町営塾HAN-KOH」「PTA」「卒業生」
「学校運営協議会」「島根大学・島根県立大学」「県教育委員会」「文部科学省」

【育てたい資質・能力ルーブリック 2学期集計結果】

3年 / 回答 / 平均 (1学期)	3年 / 回答 / 平均 (1学期)					全学年	(1学期)	(差)
	1	2	3	4	5			
自他の心身の健康	1	2	20	22	14	3.78	3.33	0.31
知識・技能	1	4	19	29	6	3.59	2.97	0.54
情報活用能力	0	2	23	26	8	3.88	3.31	0.40
知的好奇心	0	5	17	20	17	3.83	3.20	0.63
共感力	0	2	15	27	15	3.83	3.33	0.39
思考判断力	0	6	18	24	11	3.88	3.05	0.63
創造力	0	4	21	21	13	3.73	3.14	0.44
協働性	0	3	18	19	19	3.92	3.25	0.46
多様性活用能力	1	3	17	24	14	3.80	3.23	0.49
表現力	0	5	20	25	9	3.64	3.13	0.38
対話力	0	6	16	19	18	3.83	3.11	0.54
強靭力	1	7	22	23	6	3.44	2.88	0.40
自己理解	1	3	17	20	18	3.88	3.02	0.59
自己決断力	1	2	18	17	17	3.86	3.02	0.62
粘り強さ	0	7	18	17	17	3.75	3.02	0.63
回答比率	0.01	0.07	0.32	0.38	0.23	3.75	3.13	0.50

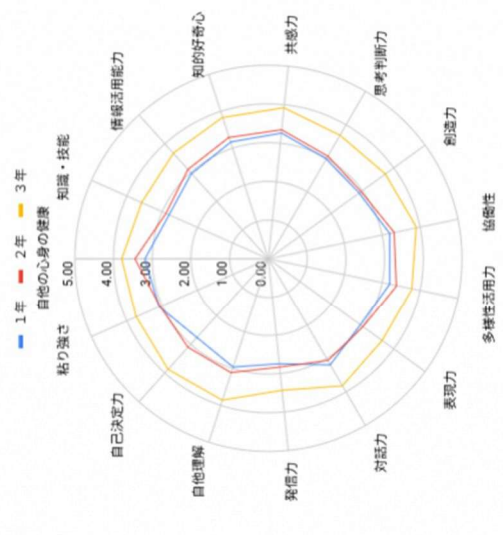
2年 / 回答 / 平均 (1学期)	2年 / 回答 / 平均 (1学期)					全学年	(1学期)	(差)
	1	2	3	4	5			
自他の心身の健康	2	4	15	14	6	3.44	2.87	0.31
知識・技能	4	6	22	8	1	2.90	2.29	0.54
情報活用能力	2	6	20	11	2	3.12	2.67	0.40
知的好奇心	6	1	14	15	5	3.29	2.40	0.63
共感力	0	7	16	14	4	3.37	2.83	0.39
思考判断力	3	7	18	10	3	3.07	2.51	0.63
創造力	4	8	18	8	3	2.95	2.40	0.44
協働性	2	6	14	15	4	3.32	2.81	0.46
多様性活用能力	0	6	18	13	4	3.27	2.74	0.49
表現力	3	7	20	8	3	3.02	2.71	0.38
対話力	3	7	17	13	1	3.05	2.69	0.54
強靭力	4	10	19	5	3	2.83	2.40	0.40
自己理解	0	10	18	11	2	3.12	2.57	0.59
自己決断力	1	8	22	6	4	3.10	2.33	0.62
粘り強さ	4	7	16	11	3	3.05	2.24	0.63
回答比率	0.06	0.16	0.43	0.28	0.08	3.13	2.54	0.50

1年 / 回答 / 平均 (1学期)	1年 / 回答 / 平均 (1学期)					全学年	(1学期)	(差)
	1	2	3	4	5			
自他の心身の健康	2	15	31	25	5	3.21	2.78	0.31
知識・技能	3	20	49	6	3	2.82	2.44	0.54
情報活用能力	3	16	43	13	3	2.96	2.53	0.40
知的好奇心	1	17	34	19	7	3.18	2.70	0.63
共感力	1	14	34	22	7	3.26	3.10	0.39
思考判断力	2	17	43	12	4	2.99	2.48	0.63
創造力	2	25	35	12	4	2.88	2.70	0.44
協働性	2	14	34	22	6	3.21	2.99	0.46
多様性活用能力	2	15	30	28	3	3.19	2.87	0.49
表現力	4	18	38	15	3	2.94	2.51	0.38
対話力	3	13	31	27	4	3.21	2.72	0.54
強靭力	4	25	36	12	1	2.76	2.53	0.40
自己理解	1	19	40	17	1	2.97	2.58	0.59
自己決断力	5	26	33	11	3	2.76	2.42	0.62
粘り強さ	3	17	36	14	6	3.09	2.78	0.63
回答比率	0.03	0.23	0.46	0.22	0.05	3.03	2.68	0.50

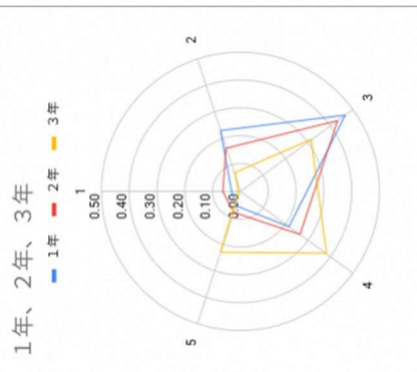


	1年	2年	3年
自他の心身の健康	3.21	3.44	3.78
知識・技能	2.82	2.90	3.59
情報活用能力	2.96	3.12	3.68
知的好奇心	3.18	3.29	3.83
共感力	3.26	3.37	3.93
思考判断力	2.99	3.07	3.68
創造力	2.88	2.95	3.73
協働性	3.21	3.32	3.92
多様性活用能力	3.19	3.37	3.80
表現力	2.94	3.02	3.64
対話力	3.21	3.05	3.83
発信力	2.76	2.83	3.44
自己理解	2.97	3.12	3.86
自己決定力	2.76	3.10	3.86
粘り強さ	3.09	3.05	3.75

学年別比較 (質問別)



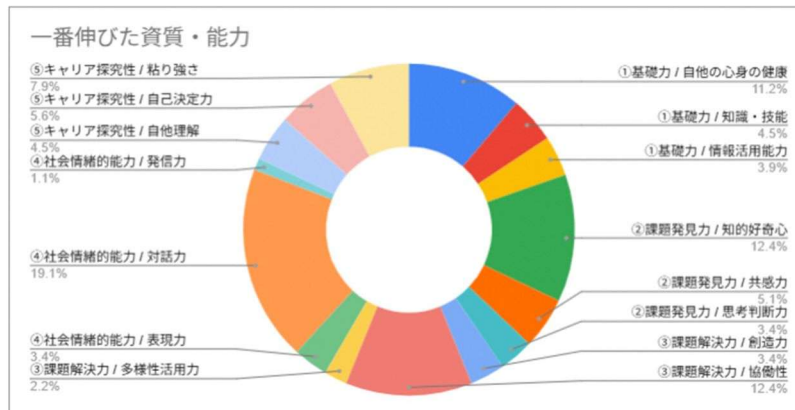
	1年	2年	3年
1	0.03	0.06	0.01
2	0.23	0.16	0.07
3	0.46	0.43	0.32
4	0.22	0.26	0.38
5	0.05	0.08	0.23



- ①基礎力/自他の心身の健康
- ①基礎力/知識・技能
- ①基礎力/情報活用能力
- ②課題発見力/知的好奇心
- ②課題発見力/共感力
- ③課題発見力/思考判断力
- ③課題解決力/創造力
- ③課題解決力/協働性
- ③課題解決力/多様性活用能力
- ④社会情緒的能力/表現力
- ④社会情緒的能力/対話力
- ④社会情緒的能力/発信力
- ⑤キャリア探究性/自己理解
- ⑤キャリア探究性/自己決定力
- ⑤キャリア探究性/粘り強さ

一番伸びた資質・能力

①基礎力 / 自他の心身の健康	20
①基礎力 / 知識・技能	8
①基礎力 / 情報活用能力	7
②課題発見力 / 知的好奇心	22
②課題発見力 / 共感性	9
②課題発見力 / 思考判断力	6
③課題解決力 / 創造力	6
③課題解決力 / 協働性	22
③課題解決力 / 多様性活用力	4
④社会情緒的能力 / 表現力	6
④社会情緒的能力 / 対話力	34
④社会情緒的能力 / 発信力	2
⑤キャリア探究性 / 自己理解	8
⑤キャリア探究性 / 自己決定力	10
⑤キャリア探究性 / 粘り強さ	14



1. 対話力 (34)

伸びた理由: 探究学習や教科学習でのグループワーク。オープンスクールや地域活動で学校外の人と関わる機会。より高度な対話スキルへの意識。

2. 協働性 (22)

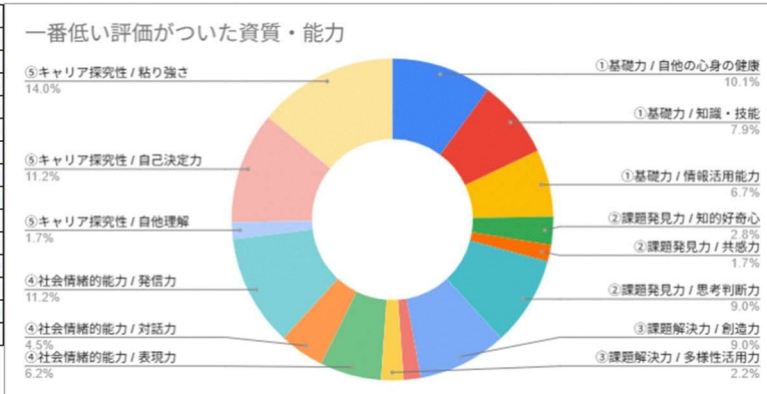
伸びた理由: 体育祭や文化祭でのクラス企画、デモ、ダンスなどの準備。探究学習や部活動での役割分担、協働作業。周囲の状況を見るようになった。

知的好奇心 (22)

伸びた理由: 津和野の総合戦略について考えた(玉木塾)、看護、化学などについて深く調べた。英語の勉強を始めた。地域イベントのボランティアに参加した。

一番低い評価がかった資質・能力

①基礎力 / 自他の心身の健康	18
①基礎力 / 知識・技能	14
①基礎力 / 情報活用能力	12
②課題発見力 / 知的好奇心	5
②課題発見力 / 共感性	3
②課題発見力 / 思考判断力	16
③課題解決力 / 創造力	16
③課題解決力 / 協働性	3
③課題解決力 / 多様性活用力	4
④社会情緒的能力 / 表現力	11
④社会情緒的能力 / 対話力	8
④社会情緒的能力 / 発信力	20
⑤キャリア探究性 / 自己理解	3
⑤キャリア探究性 / 自己決定力	20
⑤キャリア探究性 / 粘り強さ	25



1. ねばり強さ (24)

低い評価の理由: 困難や課題に直面した際の「諦め」、自己の意見や主張を貫けない「流されやすさ」、計画・習慣の「継続的なコントロール」の難しさ

2. 発信力 (20)

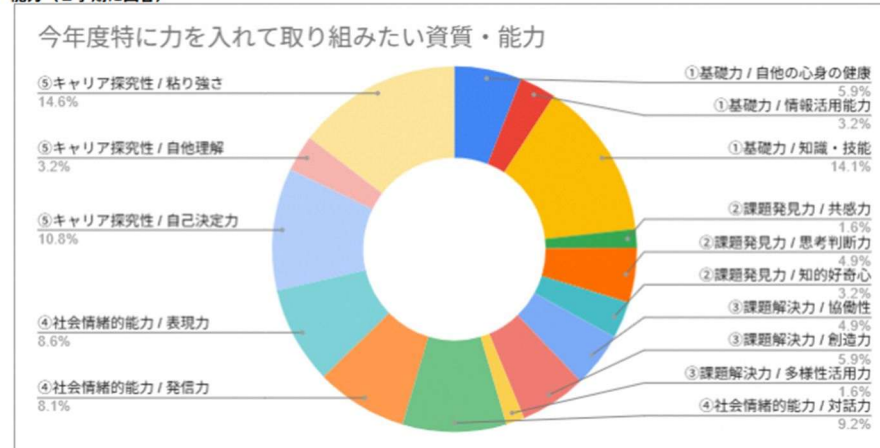
低い評価の理由: 機会不足・行動の欠如、技術・スキルの不足、苦手意識の継続

3. 自己決定力 (20)

低い評価の理由: 他者依存・指示待ち、選択・決断の困難さ、計画的な行動の欠如

今年度特に力を入れて取り組みたい資質・能力 (1学期に回答)

①基礎力 / 自他の心身の健康	11
①基礎力 / 情報活用能力	6
①基礎力 / 知識・技能	26
②課題発見力 / 共感性	3
②課題発見力 / 思考判断力	9
②課題発見力 / 知的好奇心	6
③課題解決力 / 協働性	9
③課題解決力 / 創造力	11
③課題解決力 / 多様性活用力	3
④社会情緒的能力 / 対話力	17
④社会情緒的能力 / 発信力	15
④社会情緒的能力 / 表現力	16
⑤キャリア探究性 / 自己決定力	20
⑤キャリア探究性 / 自己理解	6
⑤キャリア探究性 / 粘り強さ	27



特に力を入れて取り組みたい資質・能力に関してのこれまでの取り組み内容に関する記述
(言及の多かった資質順)

生徒の取り組み記述から、各資質・能力への具体的なアプローチと意識の変化を読み解きます。

1. ④社会情緒的能力 / 対話力

「対話力」に取り組む生徒の活動は、場数を踏むことと質の向上の二軸で展開されています。

- ・活動の多様性: 授業、部活動、校外（オープンスクール、地域の方）など、日常的な対話から公式な対話まで、活動範囲を広げています。
- ・意識の変化: 単に話すだけでなく、「相手の話を最後まで聞く」「自分の意見をわかりやすく伝える」「意見が違っても冷静に対話を進める」など、相互理解を目的とした対話を意識しています。

2. ⑤キャリア探究性 / 粘り強さ

「粘り強さ」に取り組む生徒は、具体的な「日々の習慣」を通じて能力を養おうとしています。

- ・継続的な努力: 「テスト勉強を粘り強く頑張った」「ほとんど毎日家で勉強できた」「毎日腕立てをした」など、学習面や体力面で継続する努力を重視。
- ・課題解決への執着: 部活動で課題を見つけた際に「試行錯誤し、次につながられるように意識して取り組んだ」り、「失敗を前向きに捉え」るなど、困難に直面した際の姿勢を改善しようとしています。

3. ②課題発見力 / 知的な好奇心

「知的な好奇心」に取り組む生徒は、知識獲得と行動力を結びつけています。

- ・即時性: 「疑問に思ったらすぐ調べてみる」といった、興味を持った瞬間に知識を深めようとする行動が中心です。
- ・挑戦と体験: 英語の勉強やグローバルの企画、地域の活動など、「興味のあることに取り組みました」という記述が多く、行動を通じて新たな課題や知識を発見する姿勢が見られます。

4. ⑤キャリア探究性 / 自己決定力

「自己決定力」に取り組む生徒は、受け身からの脱却を目指しています。

- ・主体的参加: 「自分から行動することを意識し」「部活動や地域の行事...に積極的に参加しました」という記述から、まずは**「やる/やらない」を自分で決める**訓練を積んでいることが分かります。
- ・意思の確立: 「人の意見に頼らず自分で決めるということを取り組みました」というように、他者との違いを恐れず自分の意志を明確に持つことを意識しています。これは、「他者依存」からの脱却を意図していると推察されます。

【第1回 ICT 研修会配布資料】

津和野高校 ICT 研修(7/29) 資料

I Google Classroom の新機能

- 「マイ動画アクティビティ」… 生徒に youtube 上の動画を見せる際に、動画内の箇所を指定して動画を停止させ、問題を解かせる機能。



- ・ [授業] → [作成] → [課題] → [添付 (YouTube)] → [動画の検索] から該当の動画を選択すると作成できる。
- ・ 問題に正解すれば動画の続きを見ることができるようになっている。反転授業等に有効。
- ・ 自由記述型の質問を設定することもできるため、振り返りをさせることもできる。

- 「演習セット」… 課題(問題)を作成する機能。Google Form の Classroom 版のイメージ。



- ・ 様々な解答方法(記述式、段落、単一選択、複数選択)を選択して作成が可能。数式を入力することもできる。
- ・ 生徒が問題を解答する時には、キーボード入力だけでなく、タッチペン等を用いた手書き入力が可能。
- ・ 解答を事前に設定しておくことで自動採点システムが利用できる。

- 「ReadAlong」… 音読に特化した英語学習アプリ。生徒の発音が正しいかどうか、AI に採点してもらうことができる。



- ・ 既存の読み物に加えて、自由に作成した文章の音読判定をすることができる。
- ・ プライズ機能があるため、生徒の学習に対するモチベーションの向上が期待できる。

〈その他〉

○ 「分析」機能

- ・ 生徒が、Classroom や Classroom 上の課題に直近でいつアクセスしたかが分かるようになった。
- ・ 課題を開いていない生徒が一覧で分かるため、取り組み状況が把握しやすく指導に繋げやすい。

○ 「グループ」機能

- ・ 課題や資料の配布を、Classroom 内の一部の生徒に限定して行うことができるようになった。
- ・ 一部の生徒にのみ伝えたい事項を、紙での配布ではなく学年やクラスの Classroom 内で、グループ機能を用いて伝達できる。

○ 「クイックリンク」機能

- ・ リンクやストリームの投稿を、Classroom 上部に固定して表示させておく機能。

津和野高校 ICT 研修 (7/29) 資料

2 Google WorkSpace の新機能

● 「Vids」 … 動画編集アプリ



- ・ 特別な知識がなくても動画編集ができて、使いやすい。
- ・ 共同編集ができるので、津高祭等で生徒が動画を作る際には便利。

● 「Notebook LM」 … ノートや資料の管理アプリ



- ・ Google ドキュメントやスライド、PDF、ウェブページの URL、YouTube 動画等、好きな形式の資料をアップロードすることができる。アップロードした資料は、AI がすぐに要点をまとめてくれる他、チャットで気になることを質問すると、資料から探し出して教えてくれる機能もある。
- ・ 教科に関わる資料をアップロードしておき、チャットを活用して問題を作ってもらうこともできる。

ICT 活用研修② 「NotebookLM について」

○ 「NotebookLM とは？」

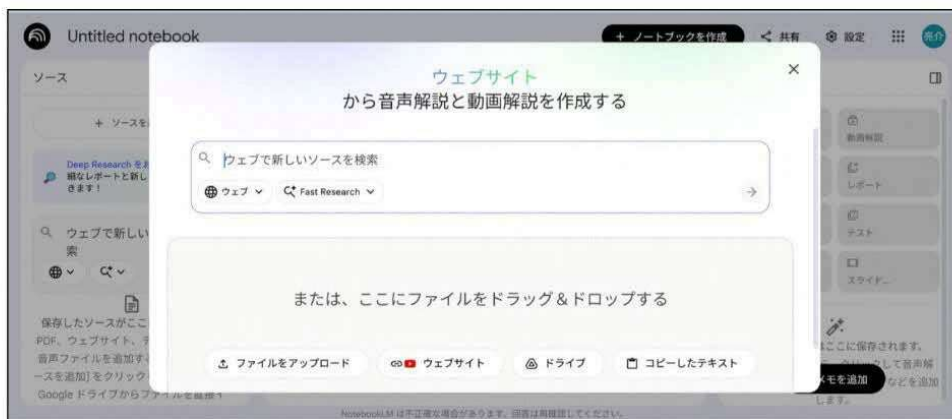
NotebookLM

授業準備、校務、そして生徒の学習支援を革新的に効率化する AI ツール。

「**自分が渡した資料（ソース）**」だけを根拠に、その内容に基づいた分析や質問回答、スライド作成、音声（動画）解説等を行ってくれる。

○ 使用方法

① [NotebookLM](#) を開き、「ノートブックの新規作成」を行う。



② 資料をアップロードする。

【アップロードできる資料（例）】

- ・ PDF ファイル
- ・ GoogleWorkspace（ドキュメント、スプレッドシート、スライド）
- ・ Microsoft Word 文書(.docx)
- ・ ウェブページの URL
- ・ Youtube 動画の URL
- ・ 音声ファイル
- ・ 画像ファイル など...



ほぼ、どんなファイルでもアップロード可能！とても便利！

③ ノートブックを活用する。



- ・ 【チャット】
自分がアップロードした資料に関する質問をすると、AIが答えてくれる。
- ・ 【Studio】
自分がアップロードした資料をもとに、編集や加工をしてくれる。

	資料の内容を、2人のAIスピーカーが対話形式で解説する。
	資料の内容に基づき、動画解説を作成する。
	資料の階層構造を、視覚的な図解に整理する。
	複数の資料を統合し、長文のレポートや説明資料を作成する。
	重要なキーワードや定義を、表面（問い）と裏面（答え）のカード形式で抽出する。
	資料の内容から、選択式や記述式の問題を自動生成する。
	資料の内容を、図解やアイコンを用いた視覚的なレイアウトでまとめる。
	資料の内容を、プレゼンテーション用のスライドにまとめる。

○活用事例

①【校内規定やマニュアルのチャットボット化】

教務規定や生徒心得といった各種規定やマニュアルをアップロードする。

「校舎は何時まで使用できるか？」と聞くだけで、膨大な文章から即座に正解と参照元ページを見つけ出せる。

②【会議録や報告書の要約】

職員会議の議事録や、学年会等の配布資料をアップロードする。

「次回の行事までに担当が準備することをリストアップして」と指示し、ToDo リストを作成する。

③【研究授業案のブラッシュアップ】

過去数年分の優れた指導案や、学習指導要領の解説をアップロードする。

自分が作成中の指導案をアップロードし、「この目標に対して、評価の観点がズレていないか確認して」といった壁打ち相手として活用する。

④【教材研究（地歴公民の場合）】

ひとつの歴史的事象に対して、複数の異なる視点の資料（教科書、専門書、当時の新聞記事など）をアップロードする。

「Aの立場とBの立場の主張の違いを明確にして」と指示することで、多面的な見方や考え方を深めるための発問づくりができる。

⑤【音声解説による予習・復習コンテンツの作成】

授業プリントやスライド資料をアップロードする。

「音声解説」機能を用いて、2人のAIが内容を対談形式で解説する音声ファイルを作成。通学中などに聞ける「聴く教材」として生徒に配布する。

「インフォグラフィック」機能を用いることで、資料を右のようにまとめてくれる。教科書やYoutube 解説動画よりも分かりやすいものが生成されることも。



内分点：線分の「内側」で分ける

点Pは線分ABの間にある
 $AP:PB = m:n$ となるように点を取ります。

ステップ：全体の比を考える
 例えば2:1に内分する場合、線分AB
 全体を「2+1=3」の比と考えます。

Aから全体の比の「2/3」の位置が内分点P
 全体の長さが6メモリなら、Aから
 4メモリの位置になります。

○課題や注意点等

- ・文字化けが発生する場合がある。
インフォグラフィックやスライド生成時に、まれに発生する。
現行の NotebookLM 上では、ピンポイントに修正することはできない。今後の AI 技術向上に期待。
別のアプリ等で画像編集を行うか、再度生成し直すことで対処できることがある。



↑NotebookLM の機嫌が悪いと、文字化けが発生する。

- ・1日の、インフォグラフィックやスライド生成可能回数に制限がある。
[音声解説] 3回 [動画解説] 3本
[インフォグラフィック] 最大3本 [スライド資料] 最大3本
- ・機密情報や生徒の成績情報等はアップロードしない。
Google ドライブと同様の運用方法で行う。

○まとめ

NotebookLM は ChatGPT や Gemini と異なり、自分のアップロードした資料をもとに AI が回答したり資料を加工してくれるため信憑性は高いが、100%正しいものとはいえないことがあるため、最終的には自分の目で確かめて上手に活用していくことが重要である。

【第3回 ICT 研修会配布資料】

ICT 活用研修③「Gemini を用いたアプリ開発について」

○はじめに

令和7年11月28日の Gemini3.0 リリースに伴い、Gemini は飛躍的にプロンプトの理解力や処理能力が向上しました。その中でもとりわけ注目すべきは“コーディング”の能力です。Gemini に日本語で「〇〇をしたいんだけど、アプリを作って」と指示をするだけで、こちらの意図を汲み取った高クオリティなアプリを作ることができるようになりました。難しい知識は不要ですので、楽しんでアプリの開発にチャレンジしてもらえたら喜びます。

○アプリ作成の手順

- ① Gemini を開く。
- ② 「ツール」選択画面から、「Canvas」を選択し、作成したいアプリについての説明を入力する。



【注意点】

- ・ Gemini の回答モードが3つ（高速モード・思考モード・Pro）ありますが、アプリを作成する際には、**Pro を選択**することを推奨します。
- ・ プロンプトは、なるべく丁寧に作成したいアプリについて説明することが重要です。また、必ず **HTML アプリ** を作りたい旨を伝えてください。

（良くない例）

分数の計算練習ができるアプリを作って。

→このプロンプトでも、概ねこちらの意図を読み取ってくれますが、クオリティが低かったり、デザインが簡素でつまらないものができてしまいます。

(良い例)

私は高校教諭です。

生徒の分数計算が遅いという実態を踏まえ、分数計算に特化した **HTML アプリ** を作りたいと思っています。

問題は全部で10問あり、分数同士の和、差、積、商の問題がランダムに出題されます。

解答の仕方は、分子と分母の整数を入力する形で答えます（ただし、既約分数）。

問題に出題される分数については、ともに分母が異なる分数とし、必ずそれぞれ既約分数の形で出題されます。

問題に間違えたら再度やり直しとなり、10問解答終了までの時間を計測します。

スタートボタンは必ずつけてください。

また、10問解答し終えたらリザルト画面（結果を表示する画面）をつけてください。

デザインは、わくわくするような感じでお願いします。

→どのようなアプリを作りたいのか、**具体的にイメージできるようなプロンプト**をつくるのが大事です。細かいデザインや機能については、後からでも修正可能なので、はじめにアプリの大枠をつくっておくとのちのち楽です。

ちなみに、

「bgmをつける」「スプレッドシートにデータを出力する」

「印刷画面を設ける」「関数のグラフを表示する」etc...

そんなこともできるの！？というようなことができたりするので、ダメもとで要望してみてください。

③ 画面右側「プレビュー」を押し、どのようなアプリが作られたかの確認をする。




↑一瞬でアプリが作成される

- ④ 再度修正点をプロンプトに入力する。(以後、修正の繰り返し)
修正の指示を入力するごとに、プレビューに表示されるアプリがどんどん変わっていきます。
- ⑤ アプリをブラウザ上に保存する。

【アプリの保存の仕方】

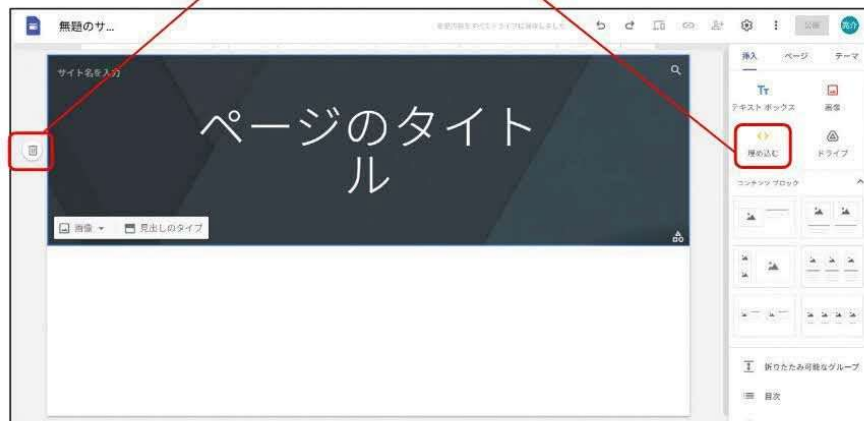
(1) Canvas 画面右側の「コード」を選択。



- (2) コード全体をコピー。
(「Ctrl」 + 「A」でコード全体を選択。その後、「Ctrl」 + 「C」でコピー。)
- (3) メモ帳アプリを起動。
- (4) メモ帳アプリ内に、先ほどコピーしたコードをペースト。
(「Ctrl」 + 「V」でペースト。)
- (5) 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」を選択。
- (6) ファイル名は、必ず「〇〇.html」とする。(〇〇は何でも良いです)
このファイルを開くと、アプリが立ち上がります。
- (7) アプリを Gemini 上で編集した場合は、該当のファイルで右クリックをし、「メモ帳で編集」を選択することで、コードの編集ができます。

【アプリの共有仕方】 Google サイトを用いて行います。

- (1) 作成したアプリのコードをコピーしておく。
- (2) Google サイトを開く。
- (3) 不要であればヘッダーを削除し、「埋め込む」を選択。



- (4) 「埋め込みコード」を選択し、アプリのコードをペースト。
その後、「挿入」を選択。
- (5) アプリ画面の大きさを調整し、「公開」を選択。
ウェブアドレスを自由に設定し、作成した URL を共有する。



〔最後に〕

ご不明な点がありましたら、教務部舟木まで遠慮なくお尋ねください。また、「こんな面白いアプリを作った」等あれば、ぜひとも共有をしてください！

第2回

東京企業訪問



i Information!

日時：2025年3月27日(木)～3月28日(金)

募集人数：1，2年生より10人程度

申込締切：1月27日(月) 17:00 [申込はこちらのフォームから](#)

▼ 連絡事項

申込人数が多い場合は、1月31日(金)放課後に面接をします。

保護者と相談して、申し込みをしてください。

Google渋谷オフィスで、Chromebookを使い参加者全員でプレゼンをします。

詳しいことを知りたい人は、センセイオフィスの山根まで。



日程 (予定)



Schedule!

1日目 3月27日 (木) のスケジュール

10:20

集合→羽田空港へ

集合場所：萩・石見空港

※現地までの移動が難しい場合は相談に応じます

11:15萩石見空港発→(ANA726)→12:45羽田空港着

15:00-

LINEヤフー株式会社

東京都千代田区紀尾井町1-3

東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー

昼食 (自己負担) 後、訪問先へ。

交通費660円 (自己負担 羽田空港→赤坂見附)

夕方

宿舎へ

R&Bホテル蒲田東口

東京都大田区蒲田5丁目2-3-1

夕食は自己負担

翌日朝食は費用に含まれています

研修先から宿舎までの交通費410円

(自己負担 赤坂見附→蒲田)



日程 (予定)



Schedule!

2日目 3月28日 (金) のスケジュール

午前

Google渋谷オフィスへ

東京都渋谷区渋谷3丁目2-1-3
ホテルを出発し、渋谷へ
交通費230円 (自己負担 蒲田→渋谷)
訪問後、昼食 (自己負担)

午後

帰路へ

空港までの交通費510円 (渋谷→羽田空港)
15:55羽田空港発→(ANA727)→17:30萩石見空港着
解散場所：萩・石見空港
※現地からの移動が難しい場合は相談に応じます

費用

石見発東京ホテルパック (1泊朝食付) を手配します。
この経費の一部を学校より補助します。
昼食2回、夕食1回、羽田空港からの交通費(1,810円)は自己負担となります。
10,000円~20,000円の自己負担が必要となります。詳細につきましては、参加決定後に再度お知らせします。
なお参加決定後に取り消しをする場合、キャンセル料が発生する場合があります。

【未来へつなぐコンサート案内】

株式会社Nex-E設立10周年記念イベント

津和野高校合唱部♪

未来へつなぐ コンサート

津和野高校合唱部がヴァイオリニスト、ピアニストを東京からお迎えして、音楽で人と町、未来へつなぐコンサートを開催します



加畑嶺 (Pf)



鈴木慶子 (Vn)



津和野高校合唱部

日時：3月2日(日)

場所：安野光雅美術館ロビー

時間：18:30開演(20:30終演予定)

出演：津和野高校合唱部

ゲスト：鈴木慶子 (Vn)

加畑嶺 (Pf)

入場無料

主催：津和野町

後援：津和野町教育委員会

企画：(株)Nex-E 津和野高校



お申し込みフォーム

【デジタル講座（前期）案内】



ツコウ生
対象!

ツコウの紹介動画をつくる! デジタル（動画編集）講座

高性能のデジタル機器でツコウの紹介動画を作ります。
完成した作品は各中学校での学校説明会や
オープンスクールで上映する予定です。

日時

4月23日（水）、28日（月）
5月16日（金）、26日（月）
6月2日（月）、18日（水）
7月2日（水）、14日（月）

いずれも

15:40～16:40

会場

Amane（予定）

準備物

Chromebook

講師

大庭成晴さん
(株式会社Nex-E)

申し込みはこちらから！

(締切4月18日17:00)

この講座について聞きたいことがあれば
センセイオフィスの山根まで

【タイピング大会案内（生徒作成）】

協賛企業
バリューアップジャパン
Nex-E

タイピング大会

大会に参加しない方も実践
できるタイピング体験
コーナーも設置します

文化部合同公演JAM
当日は合唱や演奏など
の発表があります！

6.14 土 13:30-17:30

津和野高校体育館にて開催！
参加費無料



募集人数は30人！

中学生以上なら誰でもOKです！


参加してくれた方には
Nex-Eさんから参加賞品をプレゼント！
優勝・準優勝者には
賞品があります！

グローバル・ラボ&株式会社Nex-E

津和野高校の文化部合同公演JAMで
グローバル・ラボは株式会社Nex-Eさん
とプログラミング大会を開催します！

申し込み方法 QRまたは紙

- 01 QRコード
読み取る QRでの申し込みは
こちら
- 02 しっかり書き込む 
- 03 結果を待つ
結果は6月9日に指定されたメールに連
絡をします。

大会について ソフト：寿司打 
普通5000円コース
※ソフトのコース

1次予選
14時50分～
15時25分

文字数：5~10文字
制限時間：約90秒

2次予選、決勝
16時20分～
17時00分

普通10000円コース

グローバル・ラボ部顧問 川上 0856-72-0106

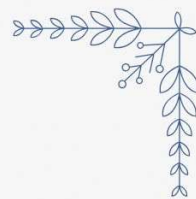
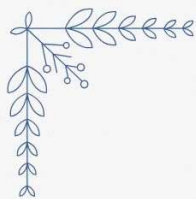


申込書

※下記の必要事項をご記入の上、津和野コミュニティーセンターへお渡してください。

フリガナ		所属	例) 中学生、社会人など
参加者名		電話番号	
保護者名	(参加者が未成年の場合)		

【デジタル推進委員資格取得講座案内】



[講座の紹介です]

デジタル推進委員 資格取得講座



デジタル庁のデジタル推進委員取得のための講座です。
デジタル機器・サービスに不慣れな方などに対してサポートできる人
として認められ、任命状が届きます。
興味のある人はセンセイオフィスの山根まで。



日時

7月～12月

料金

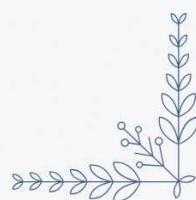
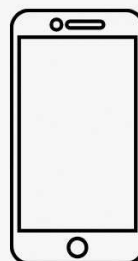
無料

3回の講座とイベント参加

講座の内容

- 第1回（7月17日（木） 16:30～18:00）
デジタル推進委員の概要とその役割について
- 第2回（9月を予定）
イベント（スマホ相談会）の企画
- スマホ相談会（10月26日（日）を予定）
イベントを実施
- 第3回（11月を予定）
振り返りと申請書類作成

申込締切 7月11日（金）



【Google for Education 事例校サミット案内】



Google for Education事例校サミット 参加者募集

【日時と会場】
2025年9月20日(土)
13:00 - 17:00

Google渋谷オフィス
(東京都)



Google 渋谷オフィスで、他の学校の先生や生徒、Google 社の方の前でプレゼンをしたい人を募集します。

【プレゼンについて】

「成長した瞬間」というテーマで5～20分のプレゼンをします。3人までのチームで行えます。プレゼンの概要とともに7月30日(水)までに申し込むと、参加の可否の連絡が8月上旬にあります。

【日程(予定)】

9月19日(金) 放課後 萩・石見空港より東京へ
9月20日(土) 事例校サミットに参加
9月21日(日) 午前 東京より萩・石見空港へ
※航空券代、および宿泊費は学校負担

申込みや内容についての質問は、センセイオフィスの山根まで

高校生のための
ビジネスマナー
対面型セミナー

2025
9/13
土
9:30 ▶ 12:00

こんなお悩みありませんか？

- ✔ 電話応対に自信が無い…
- ✔ メールってどうやって書くんだろう…
- ✔ 敬語の使い方分かってるかな…？



場所

津和野高校
Amane

内容

社会でのコミュニケーションでの
マナーについて

対象

津和野高校
全員

費用

無料



講師：株式会社Nex-E様

津和野町内外について、ビジネスマナーやIT関連
など、様々講座を毎年実施しておられます。本校
でも、1学期に講座を実施していただきました。

申込・質問は

センセイオフィス
山根まで

締切 9/5（金）

英語特別授業

旅の経歴は、世界5周53カ国

世界へ飛び立つと 何が変わる？

画面を通して世界が見られる時代に、あえて
現地に足を運ぶことの大切さを伝えます。



講師 平岡慎也さん

株式会社Stapia 代表取締役
中高の数学教師を経て、アメリカの
High Tech High教育大学院で教育
学の修士号を取得。

「Global Teacher Program」の
運営代表として、日本から延べ400
名以上の参加者を引率している。

なぜ海外に
目を向ける
べき？

どうやったら
海外に
行ける？

英語学習の
目的は？



日 時

吉賀高校

11月17日（月）
13:25～15:15 2,3年生

津和野高校

11月18日（火）
11:00～12:50 2年生
13:25～15:15 1年生
16:40～17:10 座談会（希望者）

UNITY

プログラミング 講座

プログラミングでゲームなどを作成
する講座を開催します。

有名なゲームなどでも使われている
Unityという開発環境を使います。
基礎からゆっくり学びます。

第1回 12月3日(水)

15:40~16:40

会場はAMANE

タイムカプセル株式会社の方に教え
ていただきます。

[申し込みはこちらから](#)

【デジタル推進委員資格取得講座 受講生作成案内】（原本は A4）
（1 班）

<表>



<裏>



<表のみ>



(2班)

スマホ操作が簡単になるヒント満載♪

初心者向け
スマホ教室

10月26日(日)
12:30まで

講師
津和野高校生徒

基本操作の説明
電源の入れ方
電話のかけ方
など

アプリについて
アプリのインストールの仕方

壁紙の変え方
自分のスマホの壁紙を変える方法

LINEのやり方
無料スタンプの入れ方

場所 シルクウェイ日原

持ち物 スマートフォン



(3班)

<表>

**スマホ
スペシャル講座**

スマホの使い方
教えましょう〜

12時30分まで限定です

01 電源の入れ方

02 文字の入力方法

03 写真の撮り方/保存方法

04 電話の使い方

05 LINEの使い方

アンケート



<裏>


スマホ講座

12時30分まで行っています

基本説明 応用

電源の入れ方 youtube
文字の入力方法 天気
写真の撮り方/保存方法 アラーム
電話の使い方 グーグルでの検索
Lineの使い方 アプリの導入方法

アンケートの記入にご協力ください



島根県立津和野高等学校

新時代に対応した高等学校改革推進事業
(普通科改革支援事業)
2025年度(令和7年度)第2年次 実施報告書
令和8年3月発行

【協力関係先】

株式会社さとくらし
株式会社 Nex-E
タイムカプセル株式会社
バルトソフトウェア株式会社
株式会社アドレス
島根県商工労働部産業振興課
津和野町つわの暮らし推進課
津和野町教育委員会

【執筆・編集】

松田哉(島根県立津和野高等学校長)
室北俊之(島根県立津和野高等学校教頭)
和崎陽子(島根県立津和野高等学校主幹教諭)
宮島忠史(島根県立津和野高等学校前校長)
山根幸久(島根県立津和野高等学校普通科改革担当)
瀬戸里奈(一般財団法人つわの学びみらい みらい共創コーディネーター)

【発行】

島根県立津和野高等学校
〒699-5605
島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3
TEL:0856-72-0106
E-Mail:tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp
印刷:Design MAD

